

コロナ禍長期化3年 第8波拡大の中で行動制限がなく 全国旅行支援事業が再開した1月の売上高等第18回調査

令和5年1月の社会経済情勢

49商工会490者を対象とした令和5年1月末現在の影響調査は、コロナ禍が始まった令和2年3月から2ヶ月毎に調査を開始以来、第18回目となった。

12月から1月中旬にかけて急拡大した第8波では、死亡者数が増加し一日当たりの県内最多感染者数も更新し、原材料高・物価高・円安・物価高等の影響も長期化する中で、全国旅行支援事業が再開する等社会経済活動が維持され、感染症法上の位置付けが、5月には5類に移行する方針が決定される等、大きな転換点を迎えた時期となった。

今回の主な調査項目

1. 調査対象490者の令和5年1月の売上高を、①第6波が拡大して県下全域に「まん延防止等重点措置」が適用されていた令和4年1月、②コロナ禍が始まる直前の令和2年1月との売上高等を比較
2. 令和4年1年間の売上高を、令和3年1年間、コロナ禍前の平成31年～令和元年1年間と比較するとともに、令和5年1年間の売上高見込みも調査(初調査)
3. 第8波拡大の影響、TSMC進出の影響を調査(初調査)
4. 全国旅行支援事業の効果を追跡調査
5. 原油高・原材料高・物価高・円安等の影響を令和3年秋から継続調査
6. コロナ関連融資の借入状況や返済見込み調査
7. 国、県、市町村、金融機関、商工会等に対する意見や要望等の生の声を聴取
8. 商工会会員事業所18,116者を対象とした12月、1月の倒産・廃業件数を調査

今後の見通し

第8波が落ち着いて新たな感染再拡大がなければ、これから3月～4月にかけては、「3月13日からのマスク着用緩和」などにより、5月の第5類移行に向けて消費マインドが改善されて、「全国旅行支援事業」などによる春の観光シーズン、卒業式・入学式、歓送迎会等のイベントが続くため、宿泊・飲食業等を中心に年度末から年度初めにかけて大きな書き入れ時となることが期待できる。

一方で、新型コロナウイルスの収束が見通せないことに加えて、物価高等が消費活動に与える影響や賃金引上げ動向が経営に及ぼす影響、ロシアによるウクライナ侵攻が1年を超えて長期化、米中関係等国際情勢の混迷等、引き続き、社会経済の先行き不安感・不透明感も強い。商工会連合会としては、コロナ禍等の影響が続く間は当調査を継続して、国や県等に調査結果を報告し、必要に応じて意見交換や要望活動を行って参る。

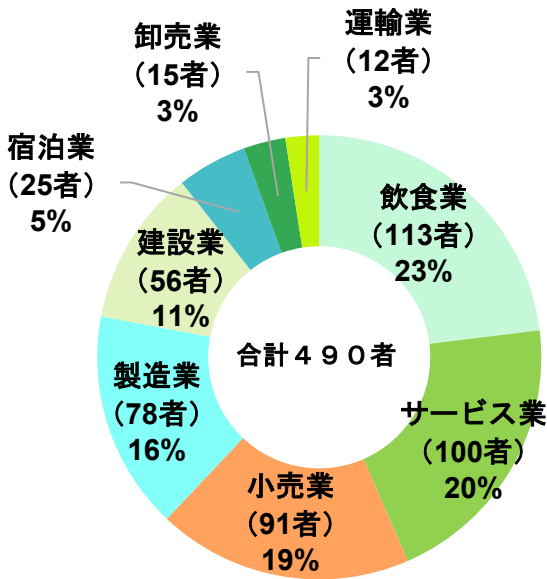
1. 会員事業者への影響調査

■新型コロナウイルス感染症に係る「第18回経営への影響追跡調査」を実施

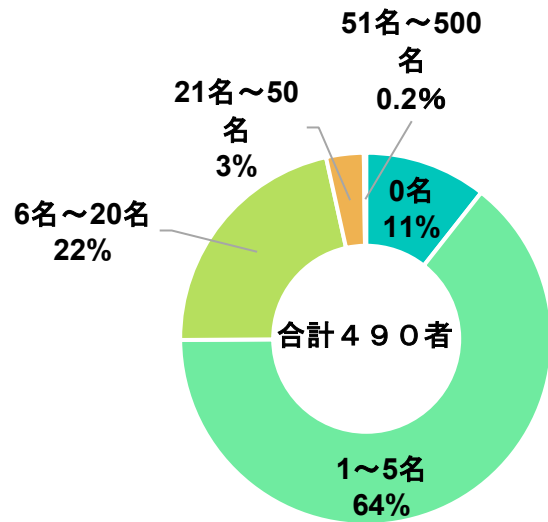
- ・調査時点 令和5年1月31日時点
- ・調査対象 県内49商工会 会員事業所 **490者**（1商工会当たり10者程度抽出）
- ・調査方法 商工会が2ヶ月毎に毎回同一会員事業所にヒアリングのうえウェブ回答

(1) 調査業種の構成比 / 従業員規模 (n=490)

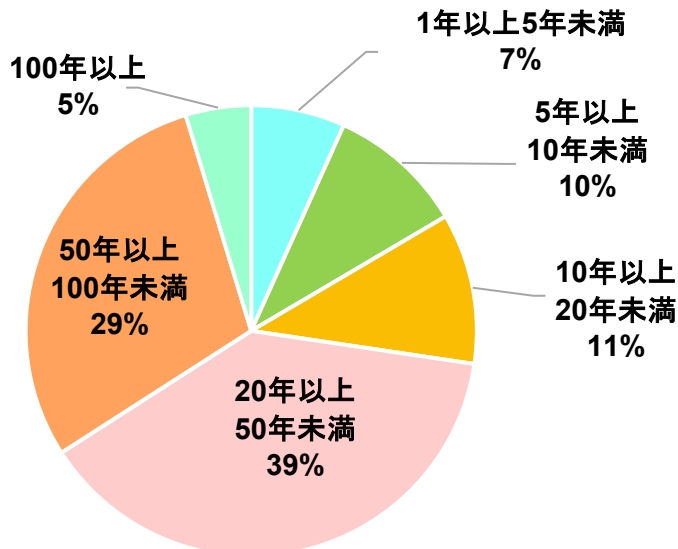
調査業種構成比



従業員規模別割合



業歴割合



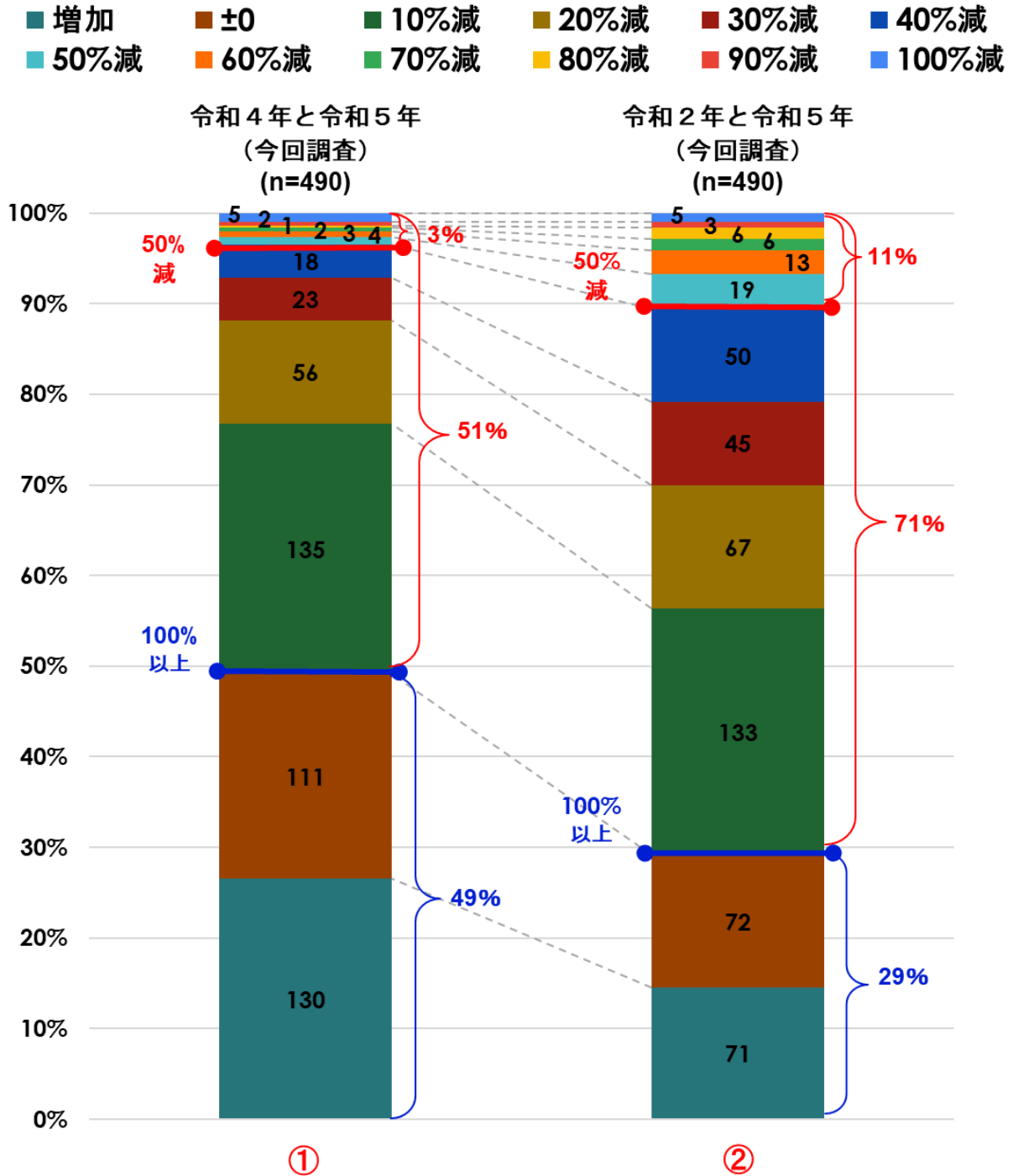
(2) 売上高の比較

ア ①対前年同月比、②対コロナ禍前同月比 売上高の推移

※別紙

イ ①令和4年と令和5年、②令和2年と令和5年の売上高比較

①令和4年と令和5年、②令和2年と令和5年
1月の売上高の比較

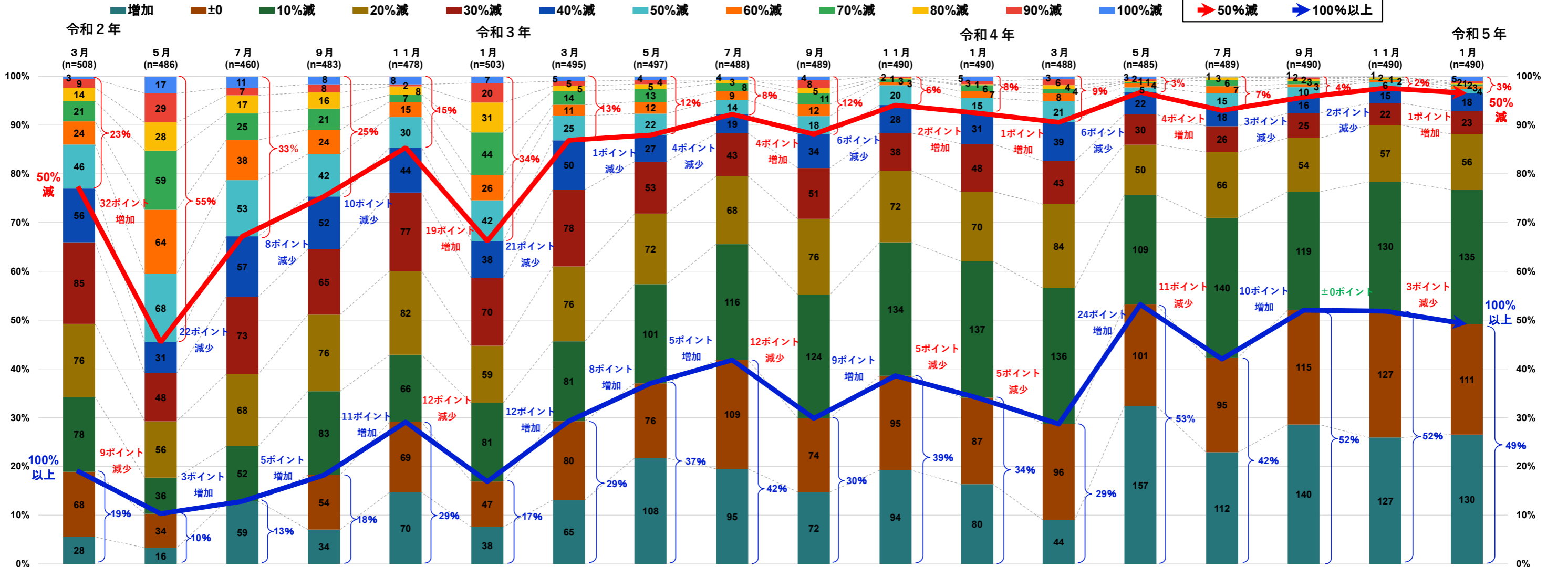


① 第6波が拡大していた1年前と第8波が拡大した今年との比較では、100%以上が49%、100%未満が51%とほぼ同割合となった。

② コロナ禍前との比較では、約3割(29%)が100%以上となったが、残り約7割(71%)がコロナ禍前を下回る結果となった。

対前年同月比売上高の推移

折れ線グラフ
 → 50%減 → 100%以上



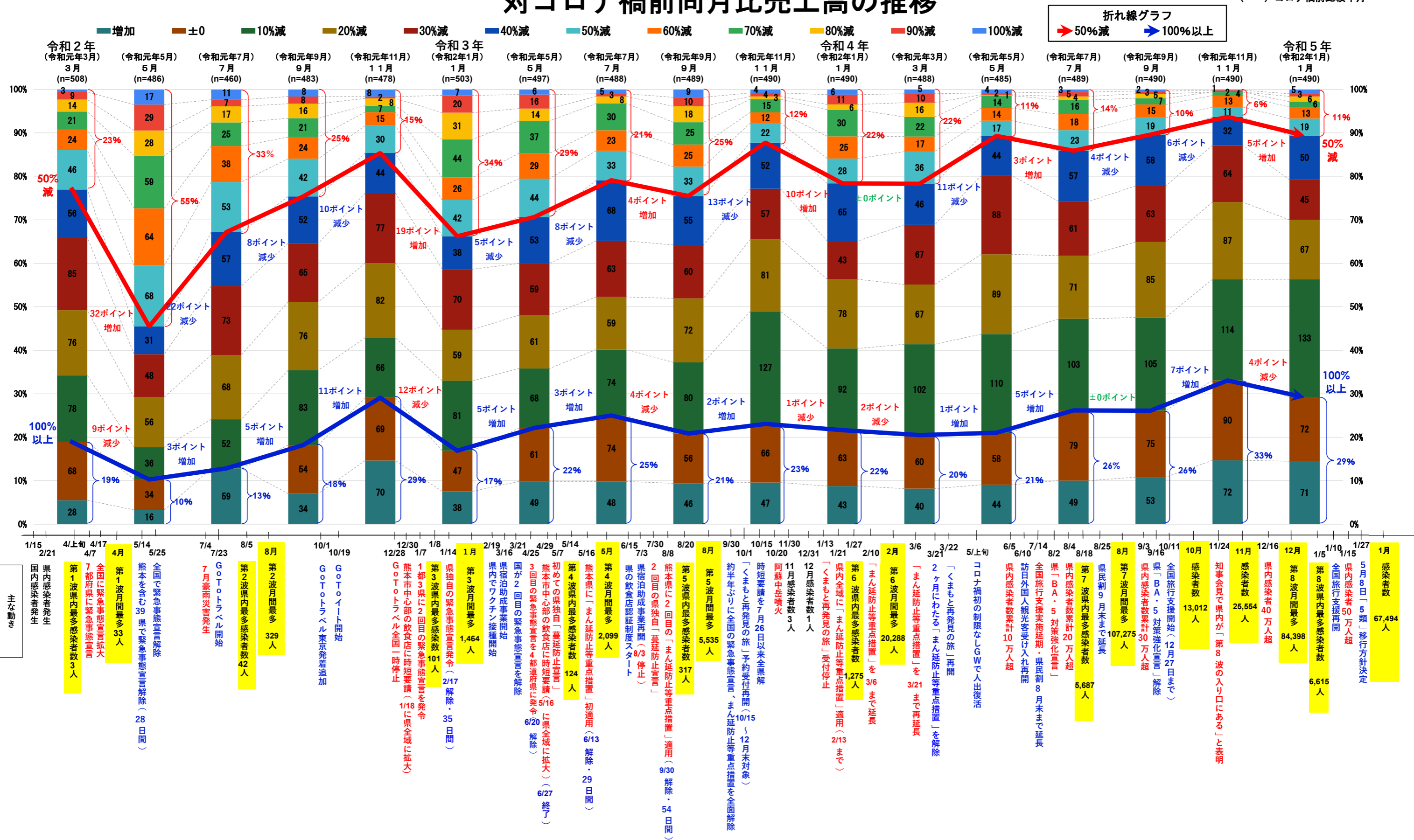
主な動き

- 1/15 国内感染者発生
- 4/上旬 国内感染者発生
- 4/17 第1波県内最多感染者数3人
- 4/7 7都府県に緊急事態宣言
- 4月 全国に緊急事態宣言拡大
- 5/14 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (1/18に県全域に拡大)
- 5/25 全国で緊急事態宣言解除 (28日間)
- 7/4 GoToトラベル開始
- 7/23 7月豪雨災害発生
- 8/5 第2波県内最多感染者数42人
- 8月 第2波月間最多 329人
- 10/1 GoToトラベル東京発着追加
- 10/19 GoToトラベル開始
- 12/30 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (1/18に県全域に拡大)
- 12/28 GoToトラベル全国一時停止
- 1/8 第3波県内最多感染者数101人
- 1/14 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (1/18に県全域に拡大)
- 1月 第3波月間最多 1,464人
- 2/19 県独自の緊急事態宣言発令 (2/17解除・35日間)
- 3/16 県独自の緊急事態宣言発令 (2/17解除・35日間)
- 3/21 県独自の緊急事態宣言発令 (2/17解除・35日間)
- 4/25 県独自の緊急事態宣言発令 (2/17解除・35日間)
- 5/7 県独自の緊急事態宣言発令 (2/17解除・35日間)
- 5/14 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (5/16に県全域に拡大)
- 5/16 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (5/16に県全域に拡大)
- 5月 第4波県内最多感染者数124人
- 6/15 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 6/16 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 7/3 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 7/30 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8/8 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8/20 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8月 第5波県内最多感染者数317人
- 9/30 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 10/1 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 10/15 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 10/20 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 11/30 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 12/31 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1/21 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1/27 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 2/10 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 2月 第6波県内最多感染者数1,275人
- 3/6 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 3/21 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 3/22 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 5/上旬 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 6/5 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 6/10 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 7/14 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8/2 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8/4 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8/18 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8/25 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 8月 第7波県内最多感染者数5,687人
- 9/3 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 9/16 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 10/11 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 10月 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 11/24 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 11月 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 12/16 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 12月 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1/5 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1/10 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1/15 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1/27 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)
- 1月 熊本市中心部の飲食店に時短要請 (6/20解除)

感染者数 67,494人

対コロナ禍前同月比売上高の推移

() コロナ禍前比較年月



ウ 令和4年1月と令和5年1月の比較で売上高プラス影響要因【対前年比割合100%以上の事業者】

【製造業】

- ・熊本空港、高速道路サービスエリアなどの土産品の売れ行きが好調。(熊本市北部商工会)
- ・旅行者向けの商品の売上げ好調のため。(小国町商工会)
- ・半導体需要の高まりによる取引の回復。(宇土市商工会)
- ・コロナも落ち着き、福岡から来られるお客様が大幅に増加したから。(熊本市植木町商工会)

【建設業】

- ・受注が好調であったため。(南関町商工会)
- ・コロナの影響が少ないため。(上天草市商工会)

【運輸業】

- ・TSMC関係送迎年間契約のため。(菊池市商工会)
- ・昨年度は感染のピーク時になっており、キャンセルが90%近くあったため。(山都町商工会)

【卸売業】

- ・県南地域での得意先売上げ増。(氷川町商工会)
- ・農業資材の売上げが好調。(熊本市河内商工会)

【小売業】

- ・売上げの大半が昨年と変わらない車検や修理などが来たため売上げがキープできた。またコロナウイルス感染症の影響で自動車に使う海外からの半導体が滞っている新車市場の影響で、中古車市場が活発化され中古車の買い取り価格が上がり、買い替え需要が起きている。その背景の中、車の転売による増収が発生した。(熊本市城南商工会)
- ・いままではB to Cのみでしたが、B to Bの卸機能も事業に追加し、売上げが伸びた。(熊本市城南商工会)
- ・価格転嫁を行った結果、販売単価が上昇しているため。(水上村商工会)
- ・コロナが緩和されたため、客足が伸びた。また、テレビ出演やInstagramを活用して、情報発信が伝わり、客単価は低いが、新規顧客が増えたため。(玉名市商工会)

【宿泊業】

- ・インバウンドの再開、全国旅行支援などがあったから。(南小国町商工会)
- ・イベント関係が復活してスポーツ団体客が宿泊するようになった。(八代市商工会)

【飲食業】

- ・まん延防止等重点措置期間ではなく、来店客数が1年前より増加したため。(熊本市託麻商工会)
- ・去年はほぼ無かった新年会などの宴会を行うお客様が多くなった。(御船町商工会)
- ・令和4年1月はコロナ禍により行動規制がなされていたが、令和5年は行動規制がなくなりコロナ禍前までとはいかないが、自由行動するようになり、来店者が増え売上げが増加した。(宇土市商工会)
- ・売上自体は悪いが、去年は月の半分を休業していたので今年は100超となった。(合志市商工会)

- ・急拡大によるキャンセル等は数件あったものの、利用人数の規制緩和により売上げは改善した。
(錦町商工会)

【サービス業】

- ・町のプレミアム商品券を利用される方が増えたから。(御船町商工会)
- ・年末年始は県外ナンバーも多く帰省客や観光客の動きがあった。くまもと再発見の旅のクーポン(全国旅行支援)は1月から電子クーポンとなったためか、紙クーポンほどの利用はないが、昨年同月の同様クーポンと比較すると158%の利用率であったことから旅行者が増えたことによる売上増と思われる。(天草市商工会)

エ 令和4年1月と令和5年1月の比較で売上高マイナス影響要因【対前年比割合50%以下の事業者】

【建設業】

- ・物価高騰、新築数が減少しているため。(氷川町商工会)

【卸売業】

- ・コロナが収まらず出張できない。物価高により商品が売れない。(八代市商工会)

【飲食業】

- ・以前の感染者の数だけ見るとはるかに超えています。数だけ見ると人は動きません。世の中の人達が飲食店離れ、コロナに対する恐怖心から客数は大きく減少しています。
(熊本市北部商工会)

【サービス業】

- ・コロナ感染者が多くお客さんの足が遠のいた。(美里町商工会)

オ 令和2年1月と令和5年1月の比較で売上高プラス影響要因【対3年前比割合100%以上の事業者】

【製造業】

- ・巣ごもり需要の影響なのか売上げは維持できている。(菊池市商工会)
- ・売上個数は余り増えていないが商品の価格転嫁で売上げが増えている。(熊本市北部商工会)
- ・3年間の自粛で積みあがった顧客の購買意欲が動き始めたから。(宇城市商工会)
- ・令和2年豪雨災害の特需が続いているため。(湯前町商工会)
- ・キッチンカー導入により販路を拡大。(阿蘇市商工会)

【建設業】

- ・順調に受注が伸びているため。また、単価を徐々に上げているため。(大津町商工会)
- ・原材料費の高騰により。(熊本市富合商工会)

【運輸業】

- ・燃料代高騰により価格の値上げ。(和水町商工会)
- ・TSMC関係者送迎のため。(菊池市商工会)

【卸売業】

- ・単価のアップと取扱商品の多様化。(多良木町商工会)

【小売業】

- ・価格転嫁を行った結果、販売単価が上昇しているため。(水上村商工会)
- ・ウィズコロナが浸透してきたため。(上天草市商工会)

【宿泊業】

- ・ほとんど戻った。(大津町商工会)
- ・リピーター様、常連様が変わらず利用して下さる。また、全国旅行支援によって、お得感があることによって来て下さる。(南小国町商工会)

【飲食業】

- ・価格値上げ。(和水町商工会)
- ・コロナ禍前の水準に戻っている。(大津町商工会)
- ・店舗を改装し入りやすいお店にした。またターゲット層を40代以上の男性から、20代の男女からの低年齢層にも受け入れやすい店舗に変更し顧客の固定化に成功したから。(熊本市城南商工会)

【サービス業】

- ・原油高による仕入・販売価格の上昇。(産山村商工会)
- ・ペットの飼育頭数が増加して、病院に来院される回数が増加したから。(氷川町商工会)
- ・法人向け社宅の賃料収入増加。(合志市商工会)
- ・従業員の雇用による売上げの増加。(津奈木町商工会)

カ 令和2年1月と令和5年1月の比較で売上高マイナス影響要因【対3年前比割合50%以下の事業者】

【製造業】

- ・コロナ前と比べると、戻るには時間を要する。(西原村商工会)

【建設業】

- ・業界全体が厳しい状況です。(熊本市北部商工会)

【運輸業】

- ・イベント、会合の自粛及び中止。夜間の移動減。(多良木町商工会)
- ・全国旅行支援により個人旅行は増えているが、団体旅行はいまだ回復していないため。(山都町商工会)

【卸売業】

- ・物価高と材料高により、畳替えの注文がかなり少なくなった。また畳表の注文も少なくなった。(八代市商工会)

【小売業】

- ・ 出品していた場所がコロナによる接触の機会防止として販売面積が縮小され、その煽りをうけ自社の販売場所が無くなり、大きな売上確保が出来なくなってしまった。(熊本市城南商工会)

【宿泊業】

- ・ 県民割が実施されていて満室にはなっているものの、年末年始キャンペーン適用外であった事。帰省客や大人数での宿泊、地域での宴会がなくなったため。(熊本市植木町商工会)
- ・ 宿泊客が回復していない。地方の田舎にはまだ観光客がコロナ禍以前に戻っていない。(天草市商工会)

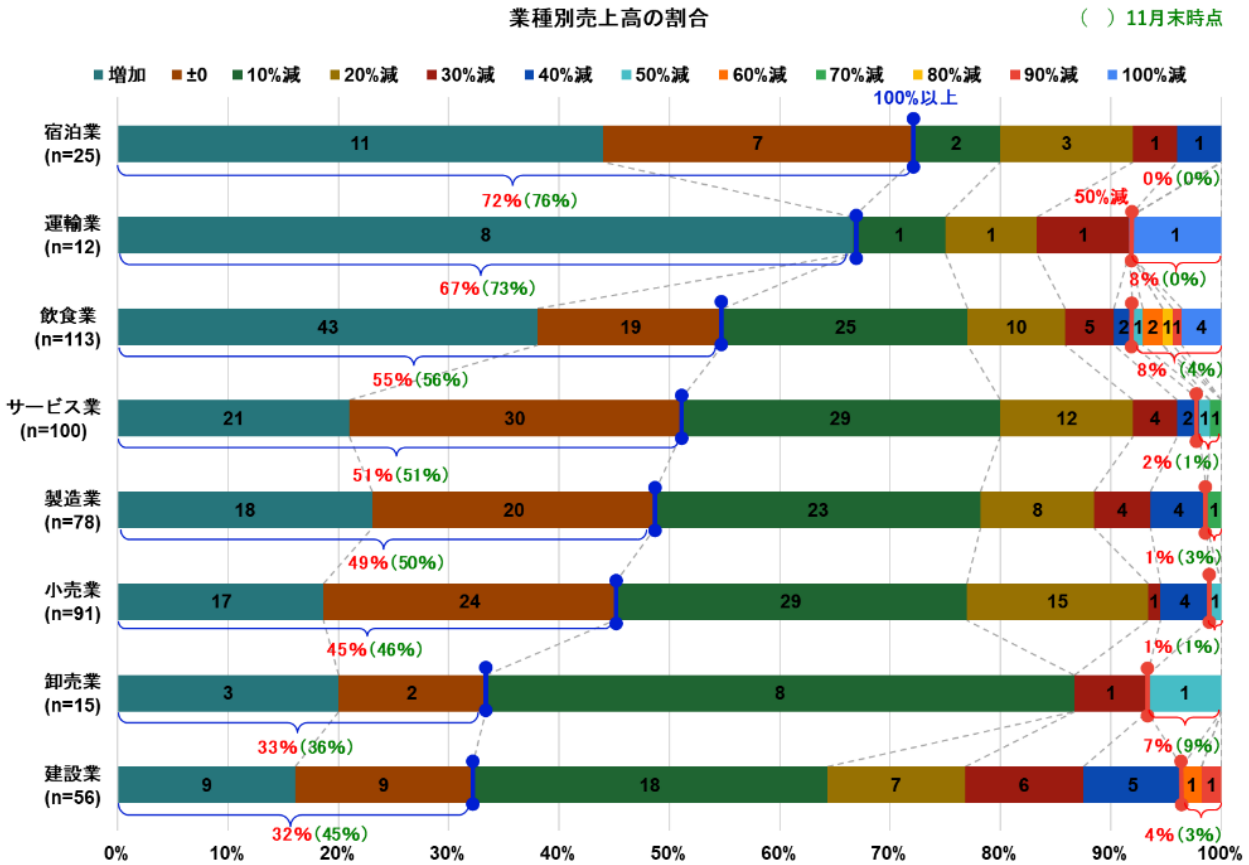
【飲食業】

- ・ お正月明けコロナ感染者数の増加により団体の客が来ない。(熊本市北部商工会)
- ・ 宴会などの大人数(同窓会や新年会)の予約がほとんどなくなったため。(玉名市商工会)
- ・ 今年はコロナ感染が拡大し、新年会もなく少人数の予約もキャンセルとなっている。(合志市商工会)
- ・ 外食をしなくてもいいと思うようになってきた感がある。(天草市商工会)

【サービス業】

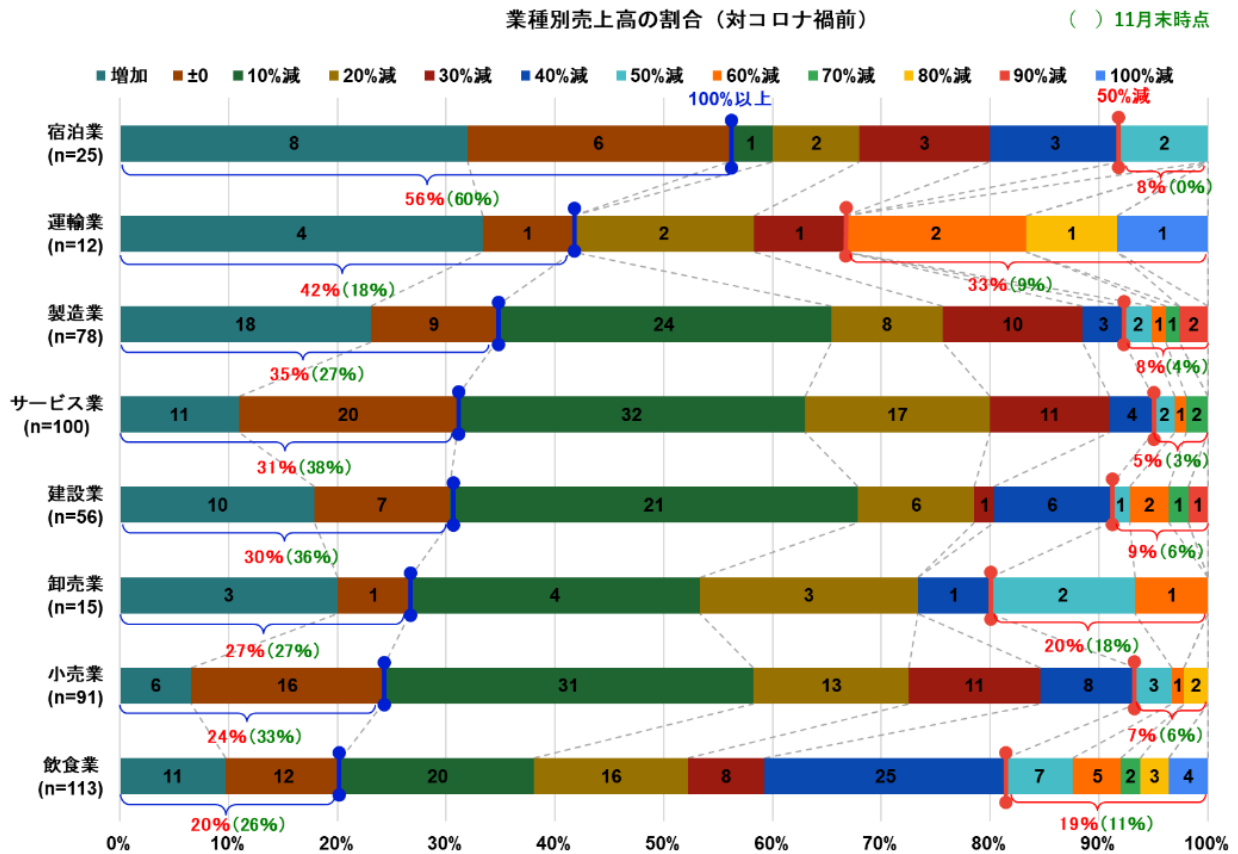
- ・ バイクに乗る人が少なくなった。また、子供も少なくなったから。寒いのも影響がある。(玉名市商工会)

キ 業種別の売上高の対前年同月比割合について 【1月31日時点】



※ 全国旅行支援事業の再開や行動制限等がなかったことから、宿泊・運輸・飲食の3業種で100%以上の割合が高くなった。

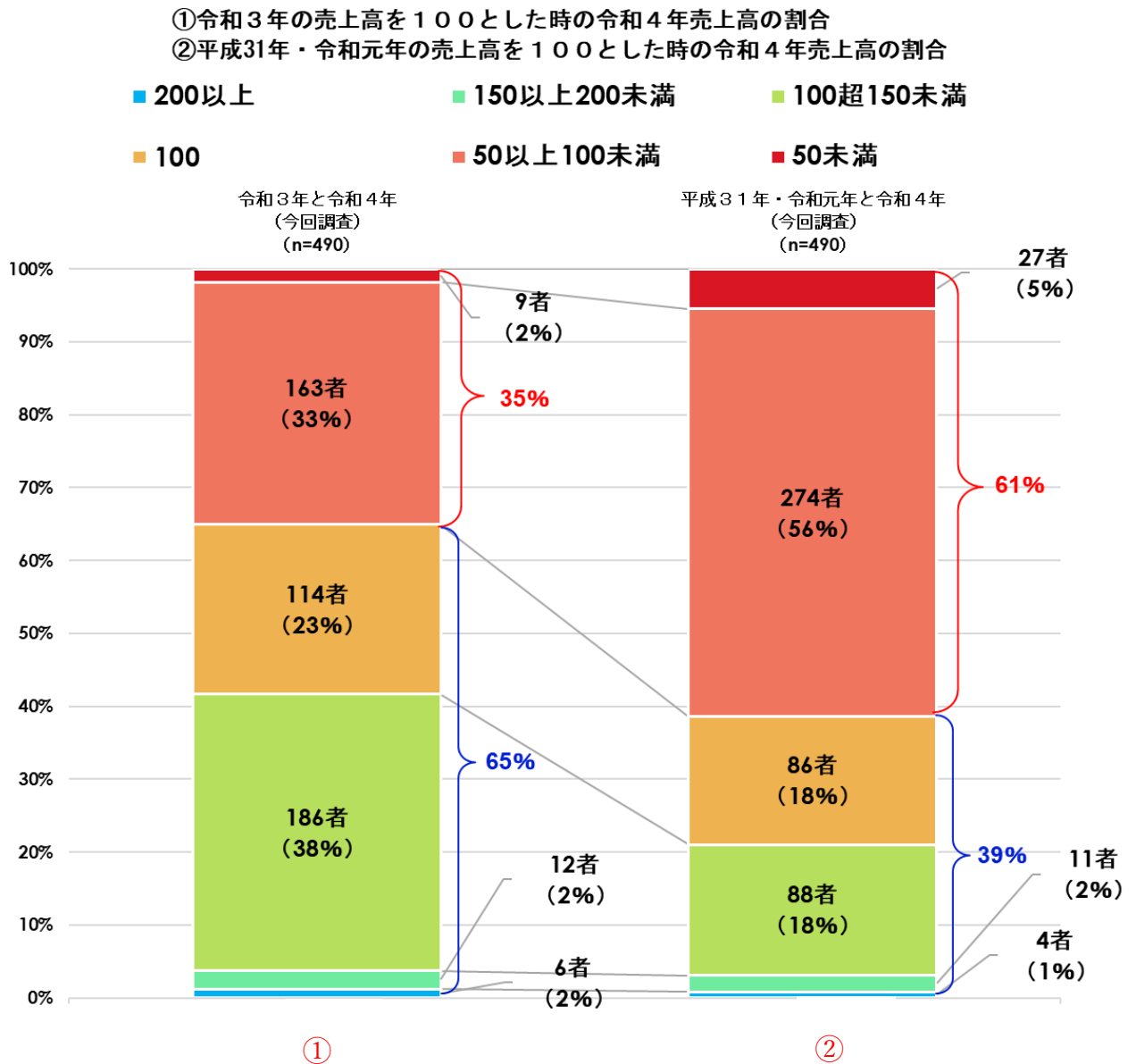
ク 業種別の売上高の対コロナ禍前同月比割合について 【1月31日時点】



※ 宿泊客が減少する1月での比較では、コロナ禍前にはなかった旅行支援事業の効果により、宿泊業の100%以上の割合が最も高くなった。一方で、飲食業の100%以上の割合が20%と最も低くなっている。

(3) 年間の売上高比較

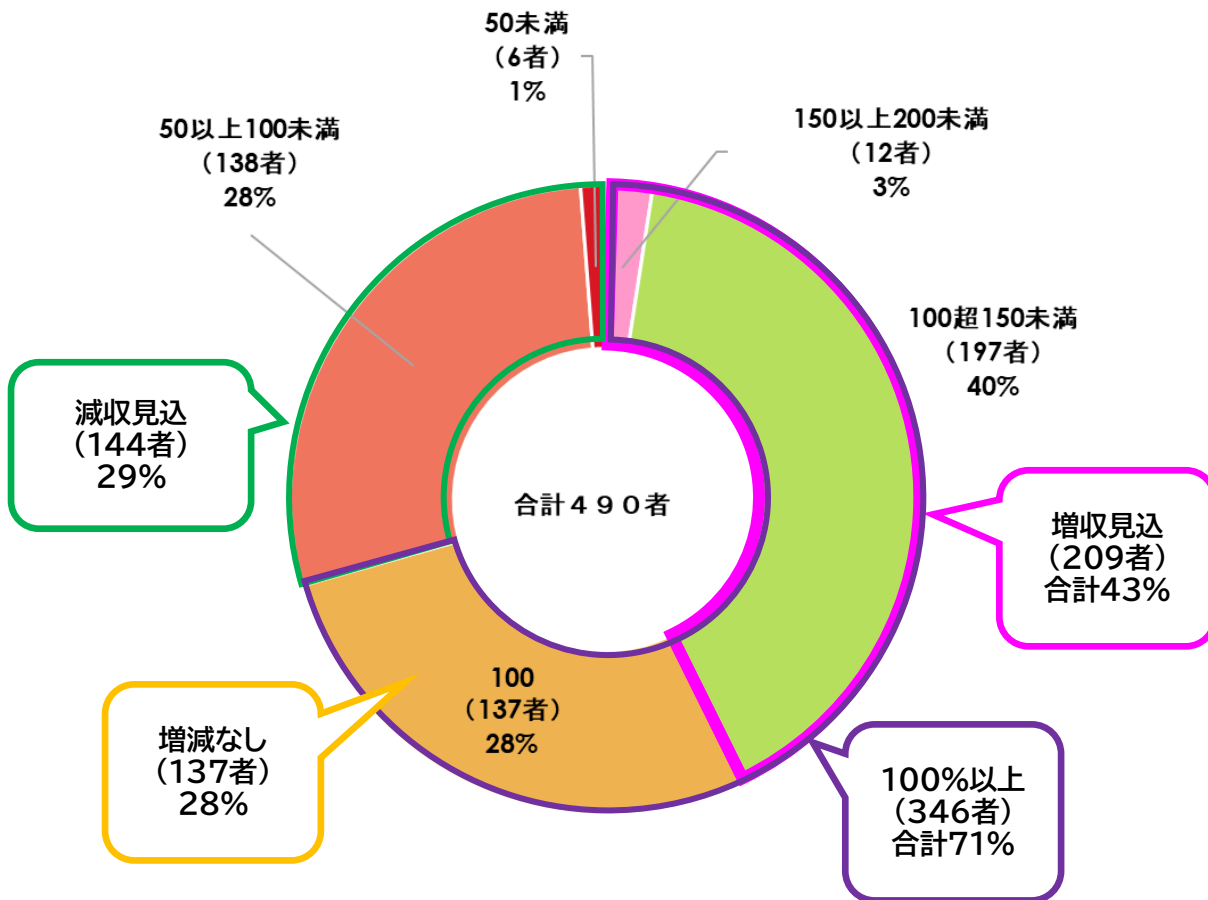
①令和3年と令和4年、②平成31年・令和元年と令和4年の売上高比較



- ① 令和4年と3年の年間売上高比較では、令和4年が春以降は行動制限がなかったことから、約2/3 (65%) の事業者が100%以上となった。
- ② 一方、令和4年とコロナ禍前との年間売上高比率では、100%以上が約4割 (39%) に留まり、約6割 (61%) がコロナ禍前を下回った。

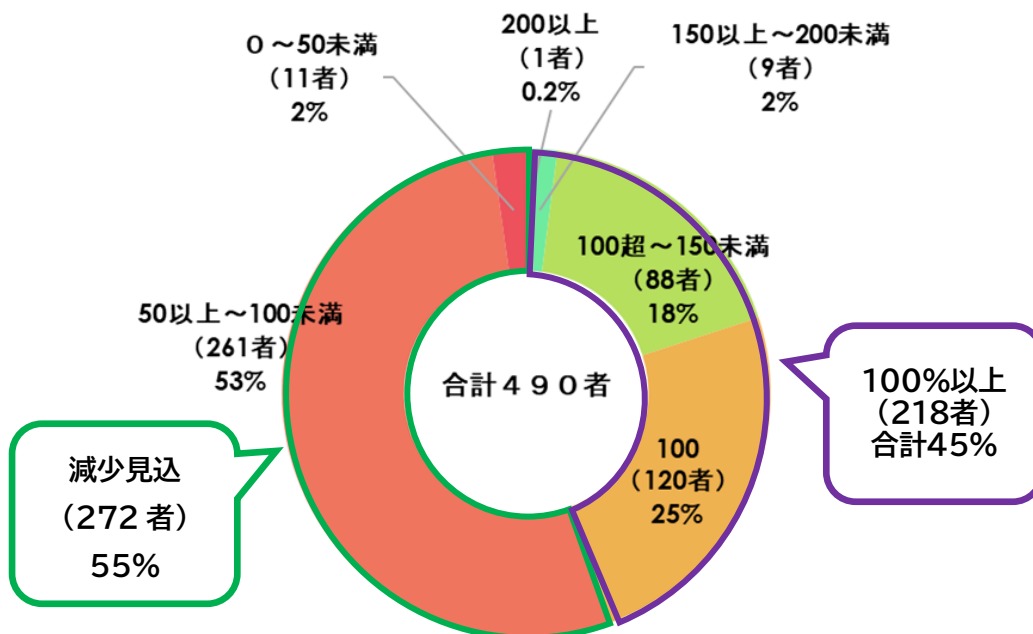
(4) 令和5年売上高（見込）

ア 令和5年売上高（見込）対前年比割合【年間予想】



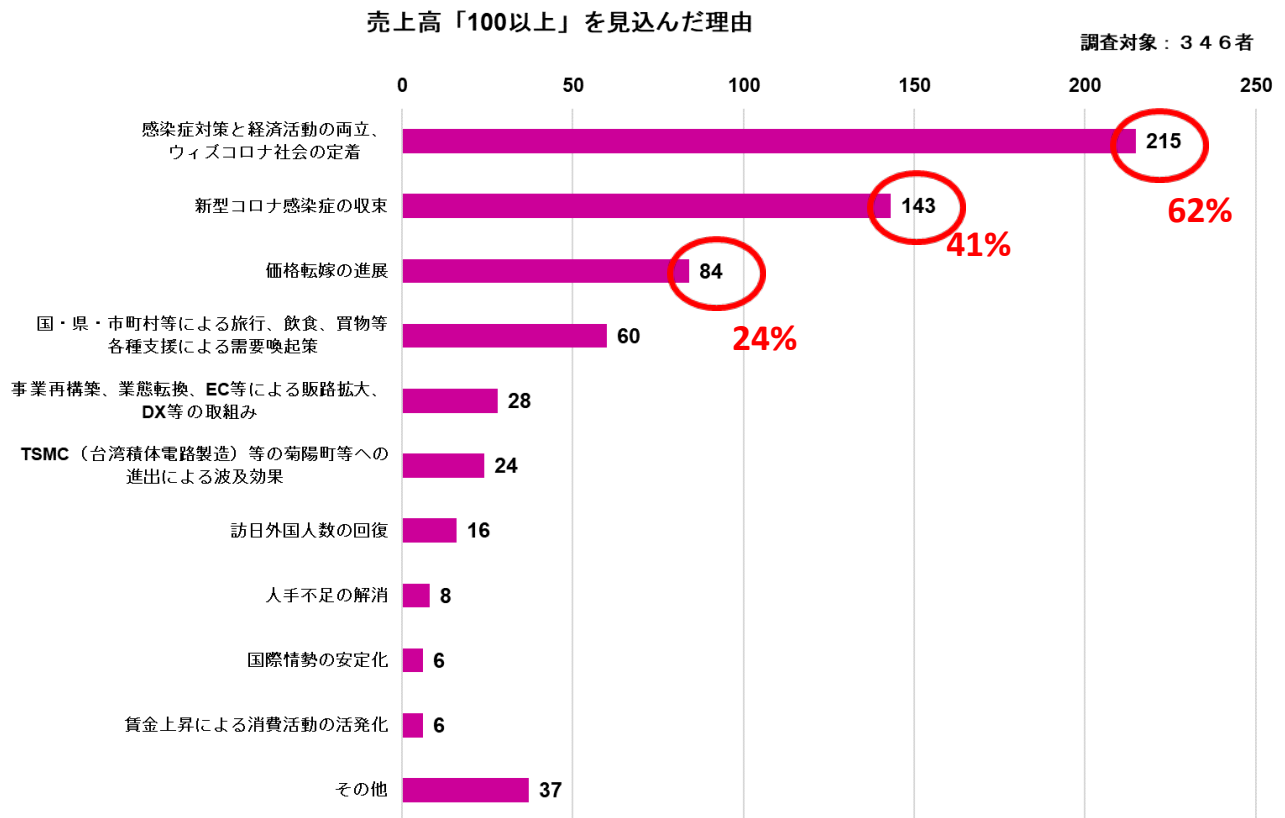
※ 令和5年の年間売上高見込は、「増収見込」が最も多く43%、「増減なし」の28%と合わせると100%以上が71%となり、100%未満の「減収見込」は29%となった。

○参考：令和3年の売上を100とした令和4年売上高（見込み） ※令和4年1月調査



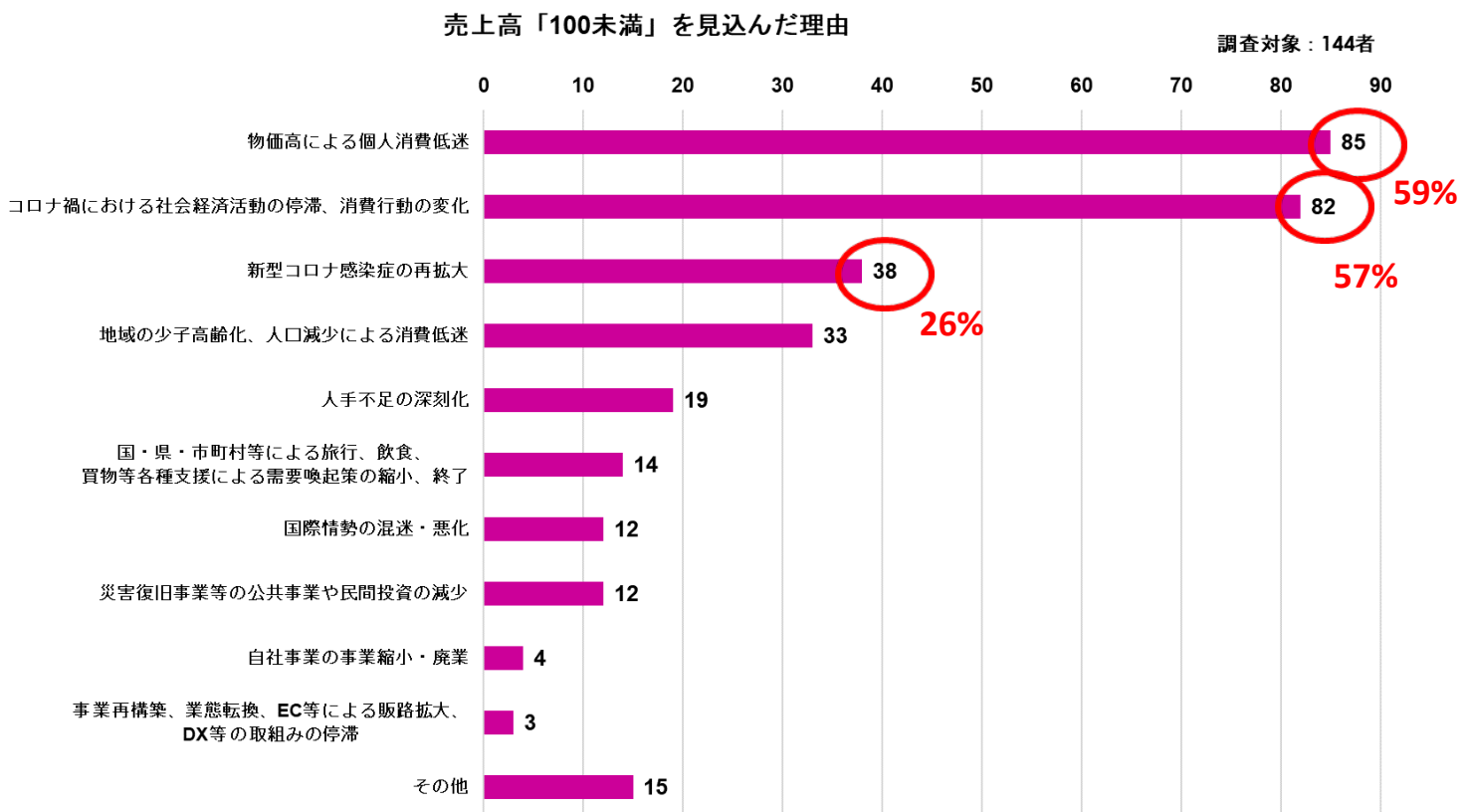
※ 令和4年の年間売上高見込みは、令和3年と比較して55%が減少見込みとなり、先行き不透明な情勢から前年を下回る厳しい見込みとなった。

イ 令和5年売上高（見込）「100以上」を見込んだ理由



※ 100以上と回答した346者のうち、上位3つは、「感染症対策と経済活動の両立、定着」が62%、「新型コロナウイルス感染症の収束」が41%、「価格転嫁の進展」が24%となった。

ウ 令和5年売上高（見込）「100未満」を見込んだ理由

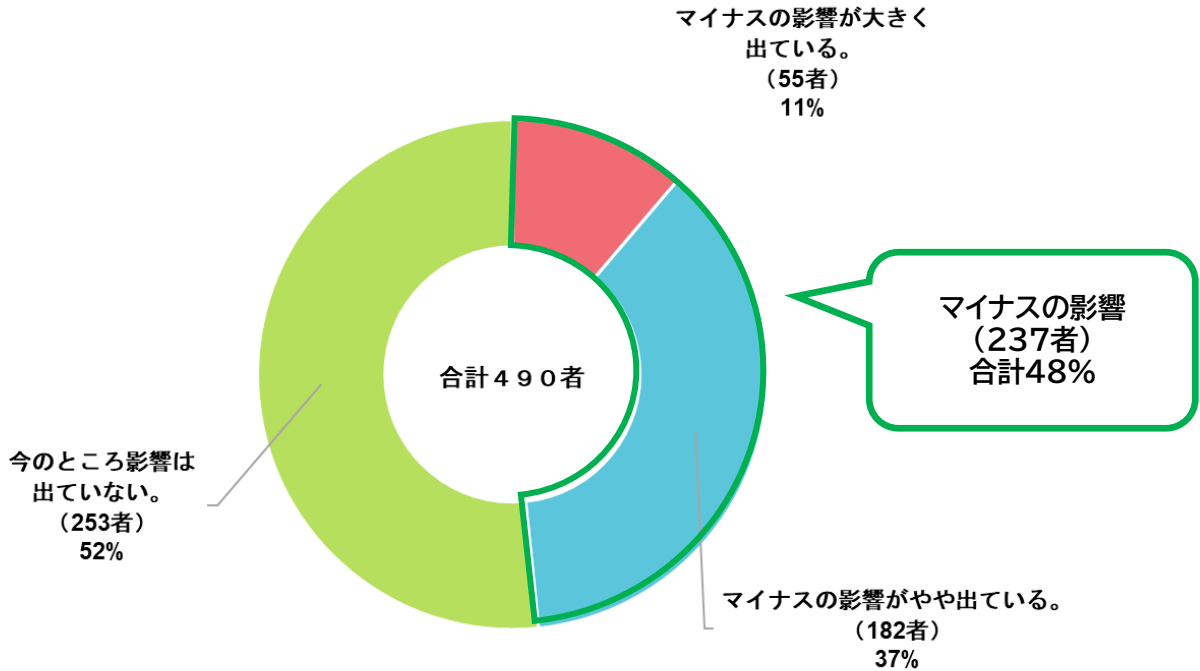


※ 100未満と回答した144者のうち、上位3つは、「物価高による個人消費低迷」が59%、「社会経済活動の停滞」が57%、「感染再拡大」が26%となった。

(5) 第8波が経営に与えている影響

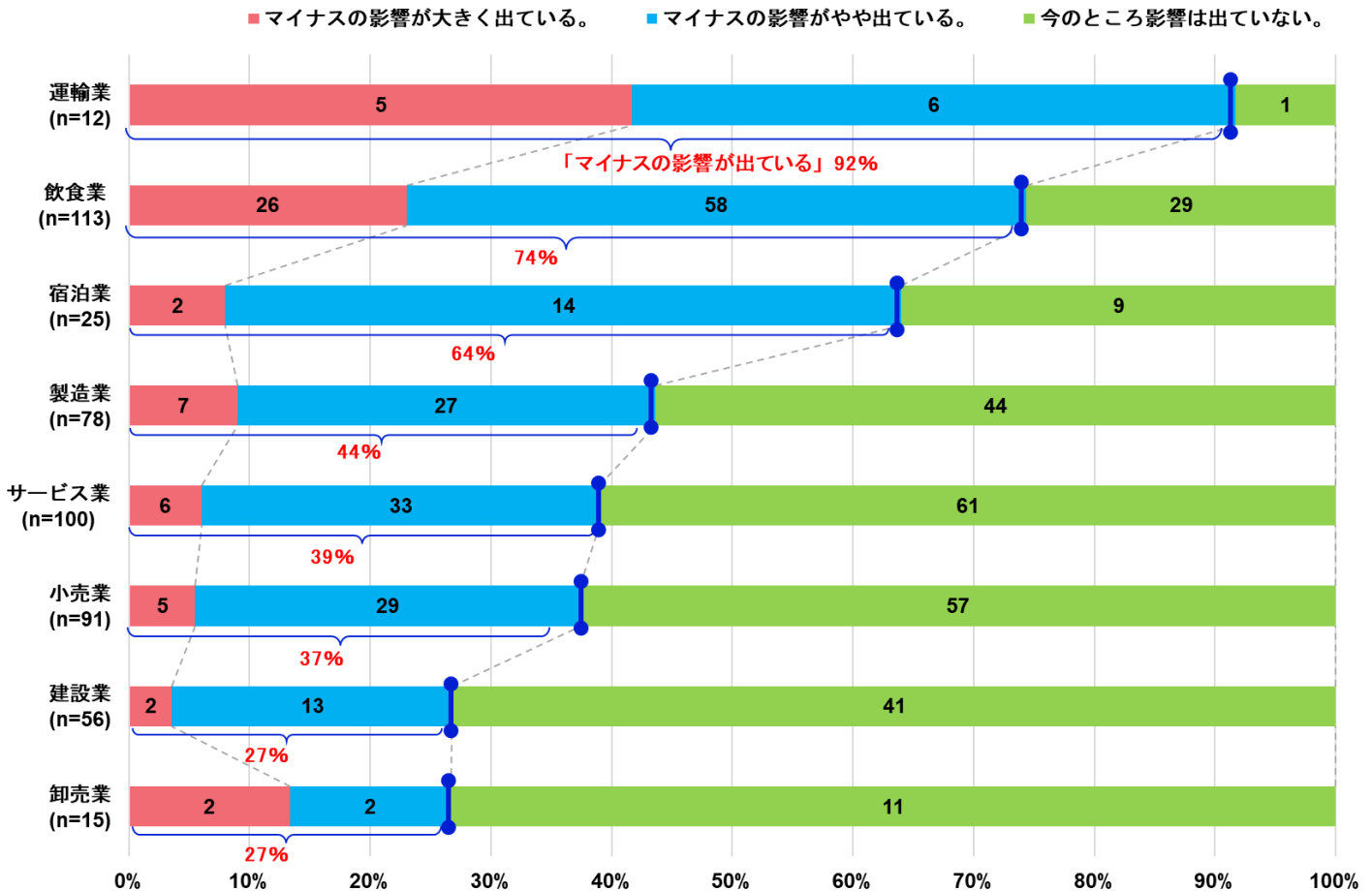
ア 影響の割合

第8波が経営に与えている影響



※ 「影響なし」52%、「マイナスの影響あり」48%とほぼ拮抗した結果となった。

イ 業種別第8波の影響の割合



※ 「マイナスの影響が出ている」割合では、業種別では、運輸業の92%、飲食業の74%、宿泊業の64%と高くなっている。なお、令和4年7月に実施した「第7波緊急影響調査」では、飲食業の88%、宿泊業の72%が「影響が出ている」と回答していた。

ウ プラス・マイナス等の具体的な影響について

【製造業】

- ・ウイズコロナで経済活動が活発化しているから。(熊本市北部商工会)
- ・物価高により、質より価格安の方に客が流れていると思う。(宇土市商工会)
- ・EC販売や卸に力を入れているが、コロナ禍前に戻らない。(長洲町商工会)

【建設業】

- ・安定した受注はあるものの材料費や人材不足が原因で工事がさばききれない。(合志市商工会)
- ・物価高騰による、新築数の減少のため。(氷川町商工会)

【運輸業】

- ・12月頃からテレビで感染者数の数が増加していると放送されると、予約のキャンセルが相次ぎ、1月の予約まで全てイベントの中止、予約のキャンセルが決定しました。(菊池市商工会)
- ・夜に出歩かないためタクシー需要が全体的に減っている。(湯前町商工会)

【卸売業】

- ・従業員に感染者が出たので、出荷量が低下した。(菊池市商工会)

【小売業】

- ・飲食店の廃業、物価高。(益城町商工会)
- ・家呑み需要が増え、(B to Cの)売上・客数が増えた部分もあるが、(B to Bの)居酒屋等の卸売りは減少した。(熊本市城南商工会)
- ・感染状況によって来店客数に影響が出る要因となっているとは思いますが、物価高による買い控えと複合的な要因も絡み、感染者数の増加だけによる影響を分けて分析できない。(熊本市植木町商工会)
- ・客数93.6%、客単価111.5%、売上100.3%(阿蘇市商工会)
- ・全体的に寒波の影響を1月末にうけている。客数が激減している。(阿蘇市商工会)
- ・特別に8波によるというのではなく、むしろ物価高による原価高騰に苦慮している。(長洲町商工会)

【宿泊業】

- ・正月は多かったが、それ以降の予約状況は低調である。(菊池市商工会)
- ・団体客がなく客数も減っているが、キャンペーンで予約状況は順調で客単価は上がっている。(熊本市植木町商工会)
- ・①団体客は減少している。②客単価は、少しプラス(値上げ対策の効果)③自治体の支援策(食事クーポン)により、売上げは維持できている。(水上村商工会)
- ・団体客の予約が増える一方で、第8波の影響でキャンセルも出始めている。(八代市商工会)
- ・感染者が増えているため、感染者および濃厚接触者でのキャンセルが出ている。(上天草市商工会)
- ・コロナ感染者が増えるとともに予約取り消しや、感染・濃厚接触によりキャンセルが発生して、売上げが減少した。(産山村商工会)

【飲食業】

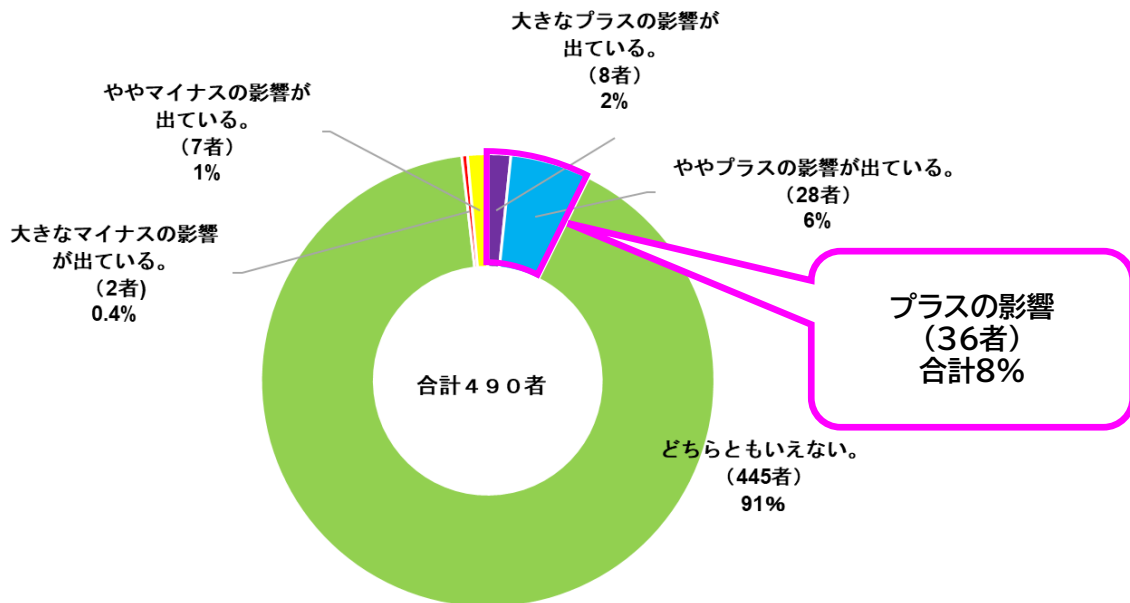
- ・昼は客足がやや回復してきたが、夜の宴会は全くない。(和水町商工会)
- ・スナックを経営しているが、2次会への流れが激減しているため売上げが減少している。
(湯前町商工会)
- ・第8波の感染者数増加とともに、急な予約キャンセルが続いた。その後、団体予約もなく、客数の大幅な減少があった。(益城町商工会)
- ・夜の宴会の予約等が入っているが、全盛期と比べると減少傾向にある。ランチタイムの来客は全盛期並みに回復しつつあるため、今後も期待したい。客単価は仕入れ価格上昇により、全体的に10%ほど値上げを行ったため数値分上昇している。(御船町商工会)
- ・10名以下の予約がキャンセルになったり日延べになったりしている。客単価については、平均4,000円が多いですが、4,500円や5,000円に上げられるお客様もいらっしゃいます。(錦町商工会)
- ・村の支援策(半額クーポン)があるため、今のところプラスの影響が大きい。(水上村商工会)
- ・令和5年1月初旬は正月客もあり順調であったが、成人の日以降はコロナ患者急拡大により宴会等のキャンセル、予約が入ってこない状況が続いた。まだまだ会社、役所関係の宴会は開催できていない。(宇土市商工会)
- ・コロナの影響でキャンセルになったのが10組98名であった。忘年会シーズンの平均客単価は3,500円であるため、34万円ほど売上げが下がったこととなる。(山都町商工会)

【サービス業】

- ・高齢者層の激減。(玉東町商工会)
- ・代表と妻が感染して店舗を閉めたので、売上げに影響がある。(玉名市商工会)
- ・髪を切られるお客様の周期がさらに伸びた。冠婚葬祭等が縮小で髪をセットする機会の減少。
(熊本市河内商工会)

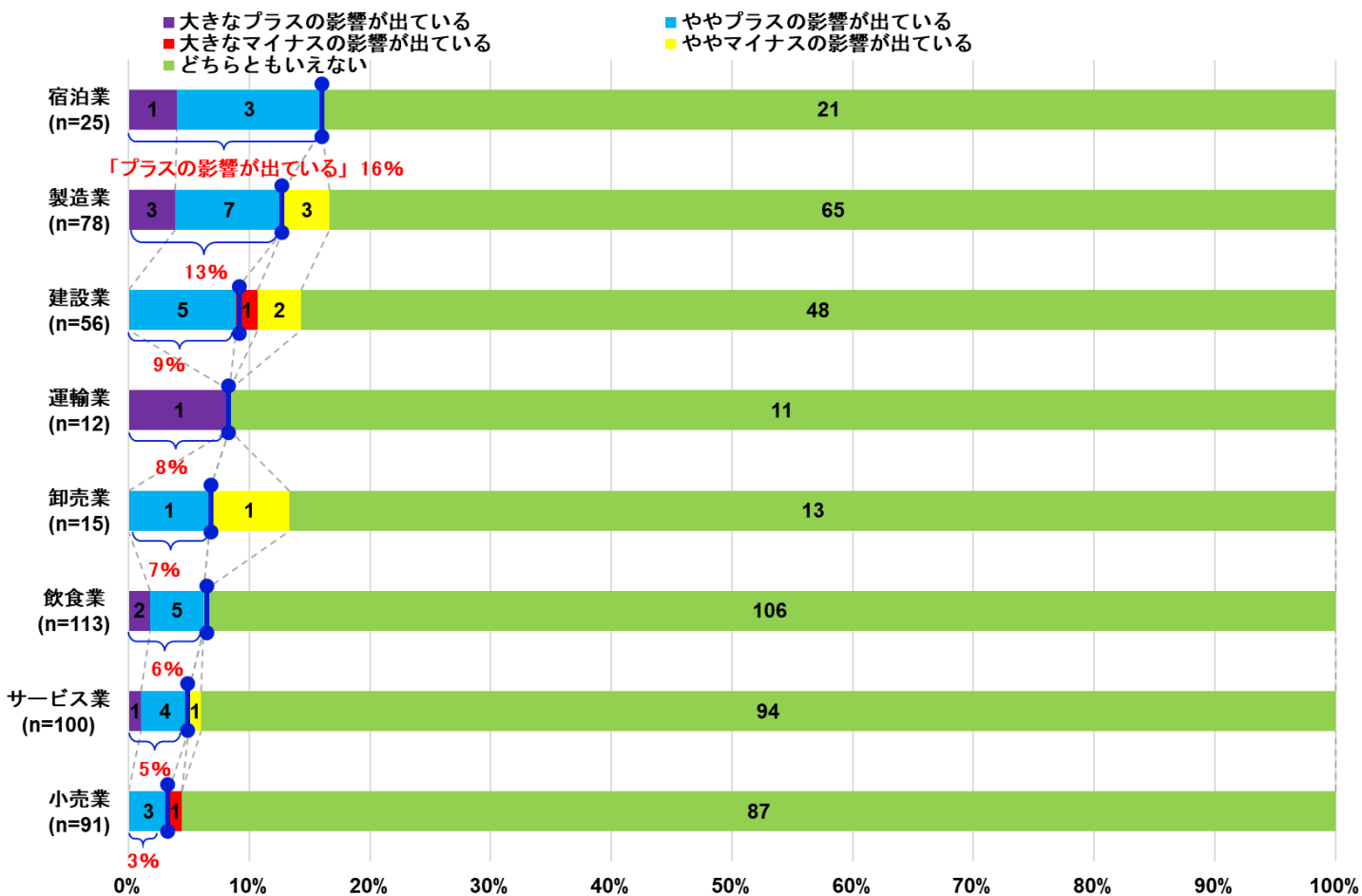
(6) TSMC (台湾積体電路製造)

ア TSMC (台湾積体電路製造) の進出の影響



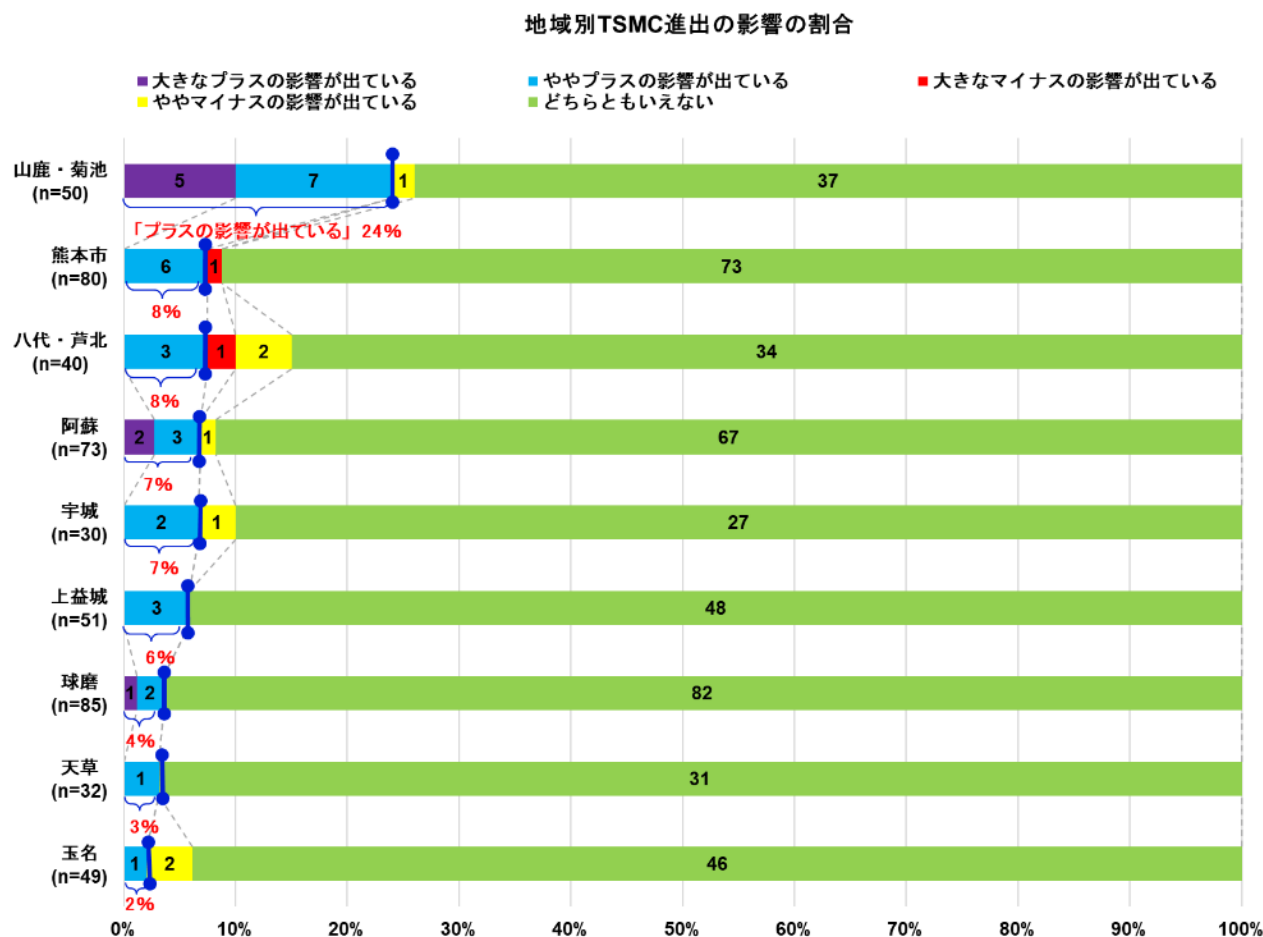
※ 全体では「まだ稼働していないので、今のところ影響は出ていないため、どちらとも言えない」等の回答が445者91%となり、「プラスの影響あり」は36者8%から回答があった。

イ 業種別 TSMC の進出の影響割合



※ 工事関係者による宿泊効果が16%、住宅建設の波及効果が製造業で13%との回答があった。

ウ 地域別 TSMC 進出の影響割合



※ TSMC 工場が建設中の菊陽町を含む「山鹿・菊池」地域のプラスの影響が、約 1/4 (24%) と最も高くなっている。

エ 事業に与える影響の具体的内容について

[1. 大きなプラスの影響が出ている]

【製造業】

- ・住宅着工の増。 (南小国町商工会)

【運輸業】

- ・TSMC 関係者送迎のためプラスになっている。 (菊池市商工会)

【宿泊業】

- ・関係業者の利用増。 (大津町商工会)

【飲食業】

- ・関係業者の利用が多い。 (大津町商工会)

【サービス業】

- ・法人による土地取得、アパート用地取引の増加。 (合志市商工会)

[2. ややプラスの影響が出ている]

【製造業】

- ・微小ながら定住による新築需要が出てくるので、それに伴い畳の需要も少しずつ増えるかと思う。(宇城市商工会)
- ・住宅着工件数が増えることが予想され、少なからずプラス影響が見込める。(水上村商工会)

【建設業】

- ・直接に業務を受注することはないが、TSMC関連に多くの業者が従事しているため、仕事が回ってくることもある。(大津町商工会)

【卸売業】

- ・大津、菊陽、合志方面の新築物件は増えてくる(ハウスメーカー)が、地元の工務店さんにはあまり効果はない。(氷川町商工会)

【小売業】

- ・菊陽町の周辺地域であり、即効性はなくとも今後従業員などの居住者が増えれば好影響が出ると考えている。(熊本市植木町商工会)

【宿泊業】

- ・2月以降下請け工事業者の予約が入ってきている。(熊本市植木町商工会)
- ・熊本市内に宿泊できなかった方が当事業所に流れてくることもある。(八代市商工会)

【飲食業】

- ・今後、台湾の来客も含めて、土、日、祝等は観光客がやや多く見込まれると思います。(南小国町商工会)
- ・宿泊業を兼ねているため、TSMC工場の建設工事員の長期宿泊をいただいている。(御船町商工会)
- ・工事関係者が宿泊している影響あり。(菊池市商工会)
- ・台湾からのお客様が徐々にお越し頂いている。(阿蘇市商工会)

【サービス業】

- ・工事車両に係る依頼が若干出てきている。(熊本市植木町商工会)

[4. ややマイナスの影響が出ている]

【製造業】

- ・県北に人の流れが集中していく。(美里町商工会)

【建設業】

- ・材料が入りにくい状況となっている。(阿蘇市商工会)

【卸売業】

- ・先に渋滞緩和策を講じていただかなければ、納品にますます時間がかかりマイナスに影響すると思う。(合志市商工会)

【サービス業】

- ・求人が菊陽町に集中し、求人をしているのに来なくなるから。(玉名市商工会)

[5. どちらともえない]

【製造業】

- ・自社の販路先はT S M Cの菊陽ではないため、影響は現在のところ出ていない。今後は波及効果次第でプラスの影響がある可能性も考えられる。(熊本市城南商工会)
- ・T S M Cが稼働してからでないと売上げが増えるのかそのままなのかは分からないが、台湾のお客様が来られても良い準備をしておかないといけないと感じている。(熊本市植木町商工会)

【建設業】

- ・今現在では影響は出ていないが、今後出ることも予想される。(材料調達面で)(錦町商工会)

【運輸業】

- ・T S M Cに関連するとこの動きが活発になり、観光業に大きな動きが加わると良い影響が出てくると思われるが、今のところ見えない。(上天草市商工会)
- ・業者の送迎等の依頼があればプラスに転じると思われる。(山都町商工会)

【卸売業】

- ・現在のところ関連企業ではないため影響はないが、周辺の開発が進み、熊本県の建設業界の市場が大きくなれば、建設資材の需要も比例して増える。自社の商品の販売も進むので、現在のところプラス要素はあるが実績は出ていない。(熊本市城南商工会)

【小売業】

- ・当社は自動車販売していますが、T S M Cがまだ稼働していないので影響はないです。(熊本市託麻商工会)
- ・スタッフ不足を心配する。(高森町商工会)

【宿泊業】

- ・今のところ影響は無いが、今後は従業員を雇用する際に人の確保や賃金上昇の影響が出るのではないかと。(上天草市商工会)

【飲食業】

- ・今の所、どちらともいえないが、近隣町村であり、プラスの影響がある事を期待している。(益城町商工会)
- ・知り合いの宿泊業では工事の方が泊まったりという話を聞くが、うちにはまだ何もない。ただ台湾のお客様への対応が稼働までには、当店も必要になってくると思う。(熊本市植木町商工会)

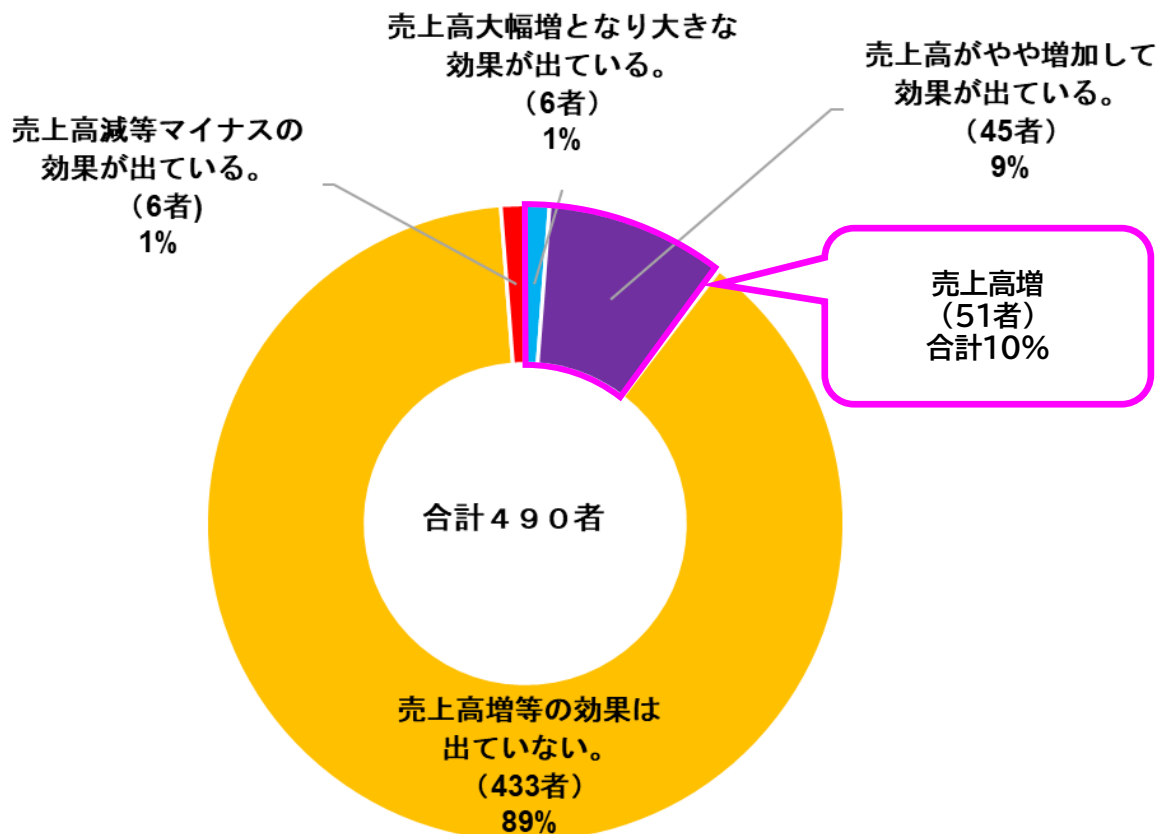
- ・天草地区に観光に来て頂ければ。昼食等の利用が期待できる。(苓北町商工会)
- ・TSMC進出で、経済が県全体の潤いに繋がると良いと思うし、雇用の面で活性化して望ましいが県南地域の人口減少になる可能性もあるかもしれないので。(多良木町商工会)

【サービス業】

- ・直接的な取引ではないが、昨年頃から台湾からとみられる家族連れがレンタカーで訪れることが度々あり、消費の増加があると予想される。(産山村商工会)
- ・距離が離れており直接は関係ないが、人件費が上昇しそうである。(上天草市商工会)

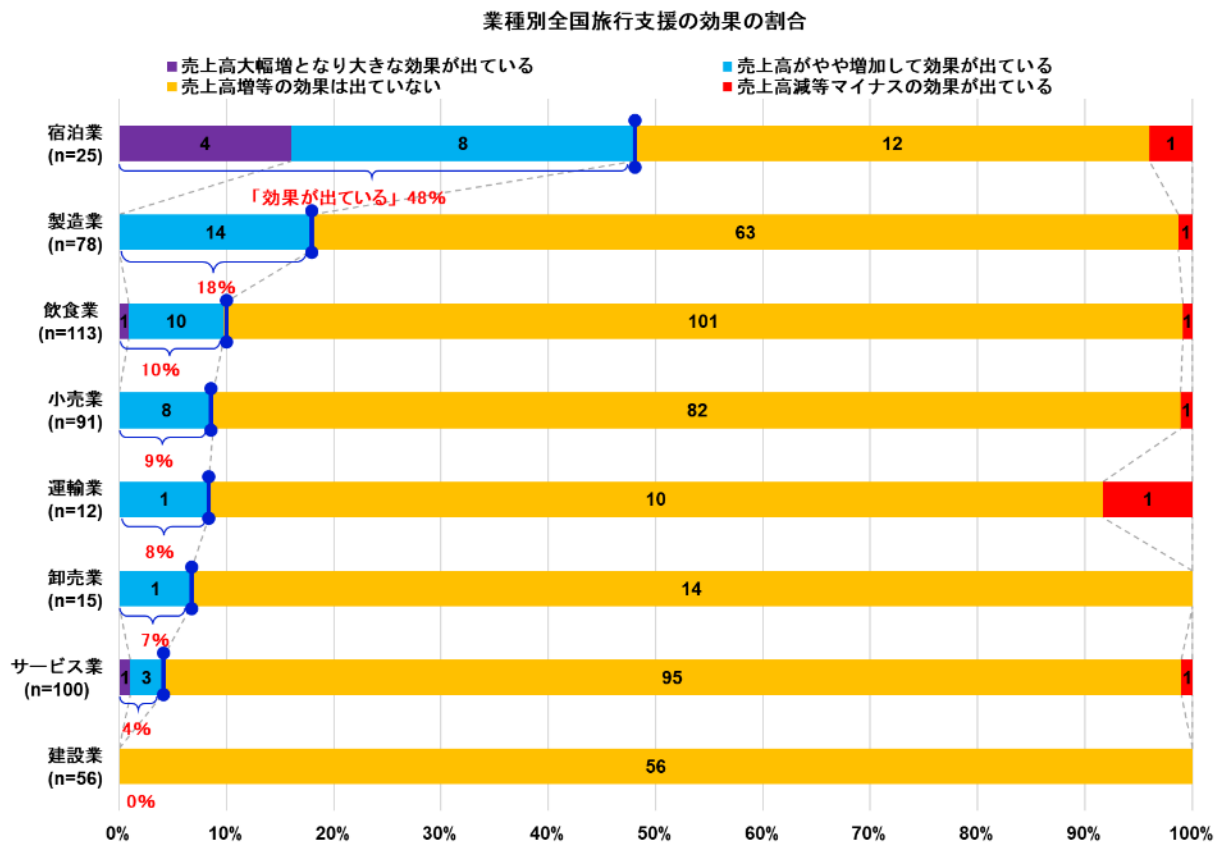
(7) 全国旅行支援事業

ア 全国旅行支援再開の効果 (令和4年1月比)



※ 第6波が拡大して「くまもと再発見の旅」が停止されていた令和4年1月との比較では、「売上増の効果は出していない」が約9割(89%)、「売上増」は10%となり、全国旅行支援事業開始後の昨年11月の調査時点との比較では、「売上増」が28%から18ポイント減少した。

イ 業種別全国旅行支援事業の効果の割合



※ 宿泊業の約半数（48%）が「効果が出ている」と回答したが、昨年11月調査時点の76%からは28ポイント減少した。

ウ 効果の具体的内容について

[1. 売上高大幅増となり大きな効果が出ている]

【宿泊業】

- ・ 1年前の1月は、行動制限がかかっていたから。(南小国町商工会)
- ・ 支援策により旅行意欲が出ている。(山鹿市商工会)

【飲食業】

- ・ 割引の使用事業者紹介の効果もあり、利用客が大きく増えた。(御船町商工会)

【サービス業】

- ・ 個人客に加え団体からの予約も入ってきている。(益城町商工会)

[2. 売上高がやや増加して効果が出ている]

【製造業】

- ・ 旅館先への卸が増えたため。(小国町商工会)
- ・ 道の駅での観光客の売上げが増加。(阿蘇市商工会)

【運輸業】

- ・ 少人数の団体旅行が5～6件あった。(山都町商工会)

【卸売業】

- ・ 旅行客が増え、飲食店からの注文が増えるから（山都町商工会）

【小売業】

- ・ 再開時期と比例して、来店客数が増え、プラスの影響が出ている。（益城町商工会）
- ・ 人流が活発になり、土産品としての購入額が向上した。（山都町商工会）
- ・ 旅行客の増加により、自家用車利用が増え、ガソリンスタンドの利用が増えた。（苓北町商工会）
- ・ 電子クーポンの利用がある。クーポンがあれば購買意欲を増す。（南阿蘇村商工会）
- ・ 取引先の飲食店、旅館からの酒の注文がやや回復している。（山鹿市商工会）
- ・ 以前の旅行支援ほど当地の来訪者は増えていないように感じる。（上天草市商工会）

【宿泊業】

- ・ お客様自身が情報を知っていて、利用していただいた結果だと思う。（熊本市植木町商工会）
- ・ 割引率が縮小しても、お客様は予約してくれる。（水上村商工会）

【飲食業】

- ・ 12月までの利用は多かったが、1月の利用は少ない。（大津町商工会）
- ・ 来店客増加が見られ、確実にプラスの影響を感じている。（益城町商工会）
- ・ 観光客が増えると、当店の立地条件が良いので昼食のお客様が増えている。（苓北町商工会）

【サービス業】

- ・ クーポン利用額が前年同月対比で158%であったため。（天草市商工会）

[3. 売上高増等の効果は出ていない]

【製造業】

- ・ 旅行客が特に増えたとは感じていない。（高森町商工会）

【建設業】

- ・ 旅館業が潤ってくると仕事が回ってくるため、今後には期待している。（阿蘇市商工会）

【運輸業】

- ・ 旅行支援や再発見の旅など、支援がありますが、個々で少人数での利用が多く、団体で支援を利用して観光旅行をする事が少ないので観光バスに対しての効果はない。（菊池市商工会）

【卸売業】

- ・ 利用客はほとんどいない。1円単位の支払いがあるため、かえって手間がかかる。（熊本市託麻商工会）

【小売業】

- ・ 都市部では効果があると思うが、宿泊施設が少ない田舎ではどうなのか疑問。（八代市商工会）
- ・ EC、県外出店が多く当店で効果は見られなかった。（天草市商工会）

【宿泊業】

- ・電子クーポン対応店舗だけが恩恵を受ける対象となったため、当店は加盟店舗から外れた（DX推進のためかもしれないが、そのように早急に対応できない店があることも考慮してほしい。）（水上村商工会）
- ・割引額の低下等で、利用者も少なくそれほど効果は出ていない。（上天草市商工会）

【飲食業】

- ・対象店舗になっているが、クーポン券を持ってくる人がいない。（和水町商工会）
- ・全国旅行支援事業に登録していません。（錦町商工会）

【サービス業】

- ・個人旅行者には良いかもしれませんが、旅行会社には時間と手間がかかり、旅行会社には良い影響はない。（益城町商工会）

[4. 売上高減等マイナスの効果が出ている]

【運輸業】

- ・親しくしている旅行会社からの手配が無くなったため。（高森町商工会）

エ 全国旅行支援事業に対する意見や要望

【製造業】

- ・もっと値引き率をあげてほしい。（山鹿市商工会）
- ・感染拡大は気になるが、来店客増の影響はあるので、ぜひとも実施してほしい。（益城町商工会）
- ・使用できる店舗の見直しをして欲しい。（熊本市託麻商工会）
- ・今後も継続して欲しい。（熊本市植木町商工会）
- ・5類に引き下がれば多少違ってくる可能性もあるので、継続を望みます。（長洲町商工会）

【建設業】

- ・ワクチン接種者のみという縛りをなくしてもらいたい。（益城町商工会）
- ・割引率を縮小して再開されたのは賛成です。しかし、長く続けるのは予算の点からもどうかと思います。今は子育てなどの支援の方が大事ではないでしょうか。（熊本市富合商工会）
- ・ホテル等の値上げがあり、割引感が以前より少ない印象を持っています。（合志市商工会）

【運輸業】

- ・もう少し簡単にしてほしい。（高森町商工会）
- ・助成金を受ける手続きが大変と聞いている。（山都町商工会）

【卸売業】

- ・内容がわかりづらい。もっと簡単に！（熊本市城南商工会）

【小売業】

- ・制度自体がわかりづらい。(熊本市城南商工会)
- ・不正が多いからやめた方がいい。(益城町商工会)
- ・クーポンの使用期限を延ばしていただくことで利用者の選択が広がる。(湯前町商工会)
- ・宿泊業への好影響も設備が充実している一部に集中しすぎていると感じている。そろそろ次のフェーズでの支援を考えるべきだと思う。(熊本市植木町商工会)
- ・全国旅行支援の共通クーポンの使用期限が短い。(水上村商工会)
- ・夏場まで継続して欲しい。(山鹿市商工会)

【宿泊業】

- ・電子クーポンになってからお客様対応にかなり時間を要する。アプリのダウンロードから始まり、QRコードの読み込みまで操作説明もしないといけない。また、スマホを持ってないお客様からは苦情を言われる。電子クーポンの通知も国から施行4日前に来ていきなり開始というのはやめて欲しいしどうせなら紙クーポンに戻して欲しい。あと、入金に3ヶ月かかるのもどうかと思う。電子になってもそれであればクーポン自体の発行をやめて欲しい。
(熊本市植木町商工会)
- ・入金が遅いのが気になります。(南小国町商工会)
- ・現金化までの期間をもっと短くしてほしい。(天草市商工会)
- ・紙クーポンの時には多少恩恵があったが、電子クーポンに対応できないため断念した。
(水上村商工会)
- ・事務作業が煩雑。(八代市商工会)
- ・ゴールデンウィークまでつなげてほしい。(山鹿市商工会)

【飲食業】

- ・クーポンの使用期間を延ばしてもらいたい。(湯前町商工会)
- ・事業所にとっては、プラスの要素が大きいため、ぜひとも実施を続けてほしい。(益城町商工会)
- ・とてもありがたい事業ではあるが、事業終了後の更なるリピーター確保が最重視されると考える。本事業に甘えて、サービスを怠らないように気をつける事を商工会などを通じてアピールしてほしい。(御船町商工会)
- ・日帰りのタクシーやバス利用の旅行にも対応してほしい。(山都町商工会)

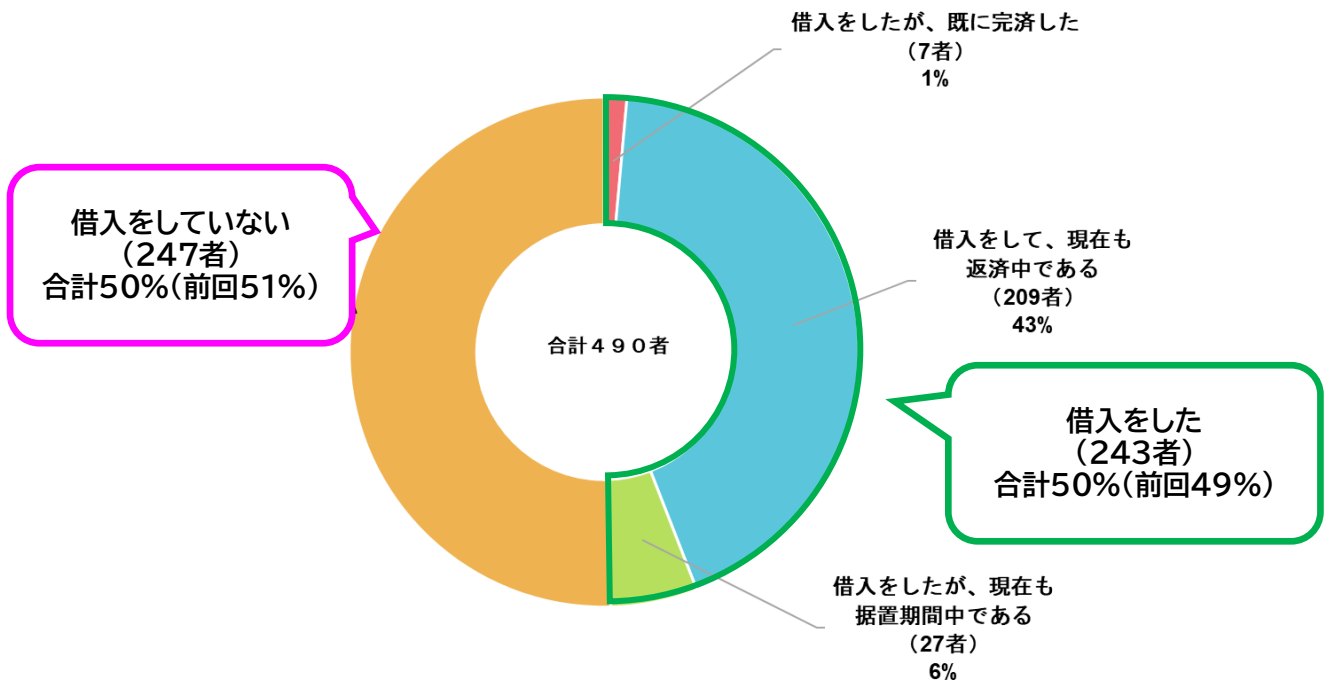
【サービス業】

- ・「アレルギー」や、やむを得ない理由で接種できない人もいるので、3回接種以上した人だけが支援されるのはおかしいと思う。(水上村商工会)
- ・電子クーポンとなり利用者、取扱店ともに利用しづらくなっている。年配の方や情報機器に疎い利用者からは従来あった紙クーポンの選択もできるようにしてほしいという意見は多い。
(天草市商工会)

(8) コロナ関連融資について

ア コロナ関連融資による借入状況

コロナ関連融資による借入状況

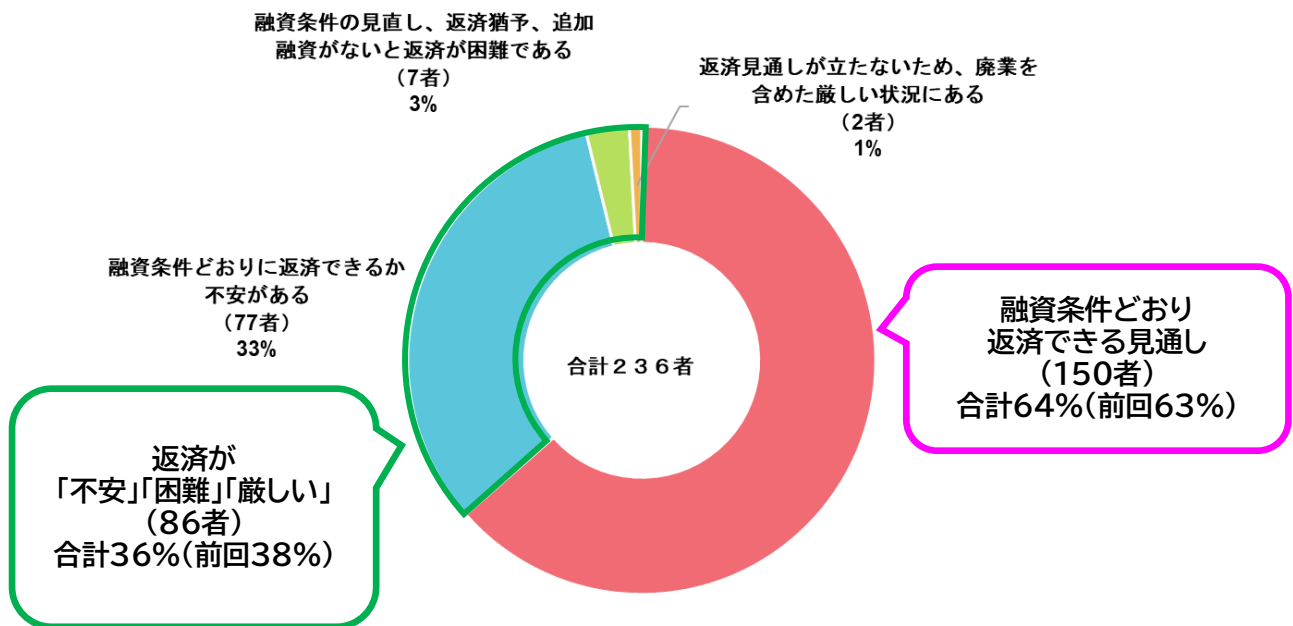


※借入状況については、ほぼ半数に分かれており、9月、11月調査時点と大きな変化はない。

(注) コロナ関連融資は、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応して実施された政府系金融機関と民間金融機関による返済条件が優遇された融資。

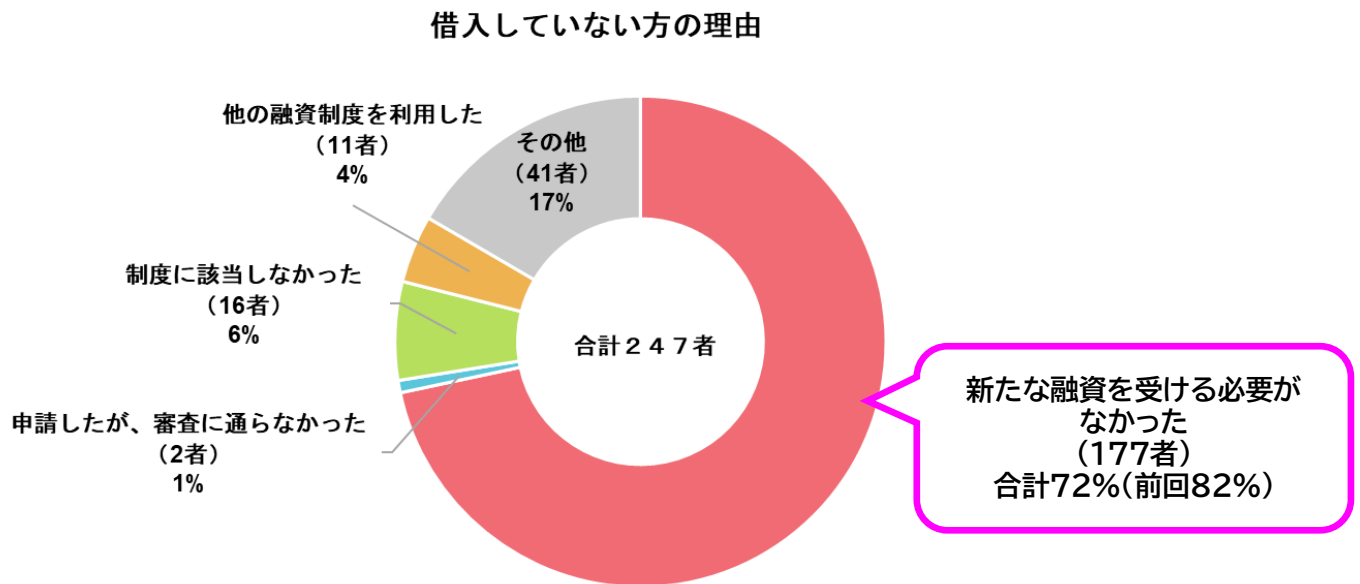
イ コロナ関連融資の返済の見通し

コロナ関連融資の返済の見通し



※「返済できる見通し」との回答が64%となり、7月調査57%、9月調査61%、11月調査63%から増加し、一方では「返済が不安・困難・厳しい」との回答が36%となり、7月調査43%、9月調査39%、11月調査38%から減少している。

ウ コロナ関連融資・借入をしていない理由



※「新たな融資を受ける必要がなかった」が 72%となり、前回の 82%から 10 ポイント減少し、下記のような理由で「その他」を選択した事業者が 17%となり、前回の 8%から 9 ポイント増加した。

【4. 借入していない】方の「その他」の理由

【建設業】

- ・手持ち資金で対応したため。(南関町商工会)
- ・助成金を利用した。(熊本市北部商工会)

【運輸業】

- ・返済を考えると借入できない。(高森町商工会)

【小売業】

- ・自社運転資金でまかなえた。(熊本市託麻商工会)
- ・自己資金で賄っている。山鹿市の家賃補助もあり、どうにか回している。(山鹿市商工会)
- ・借りてもコロナ禍がいつまで続くかわからず、返済の見通しを立てることができない。(大津町商工会)

【宿泊業】

- ・現段階では借入の必要がなかった。(玉名市商工会)
- ・自己資金で対応。(山鹿市商工会)

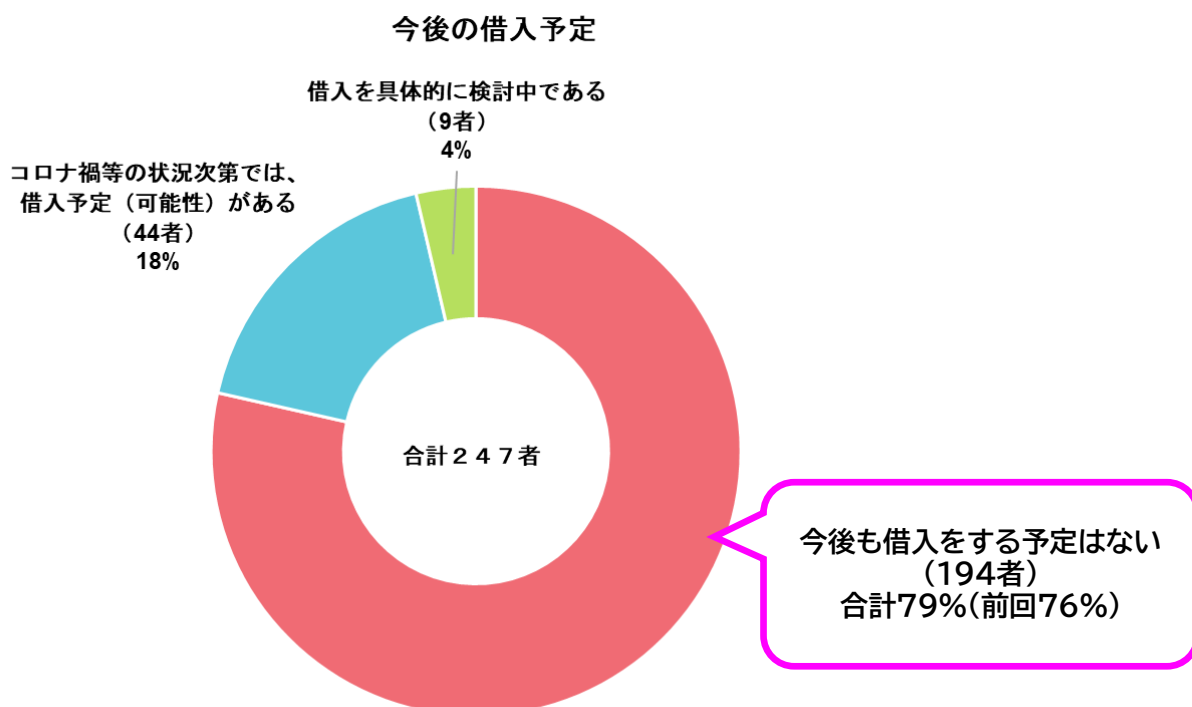
【飲食業】

- ・自己資金で対応している。(山鹿市商工会)
- ・リスクを行った。(南関町商工会)
- ・給付金でギリギリ賄うことができた。(氷川町商工会)
- ・国の持続化給付金、事業復活支援金、県時短要請協力金、町の換気対策補助金に助けられた。
(苓北町商工会)

【サービス業】

- ・自己資金で対応した。(八代市商工会)
- ・会社に体力があったので、必要なかった。(御船町商工会)

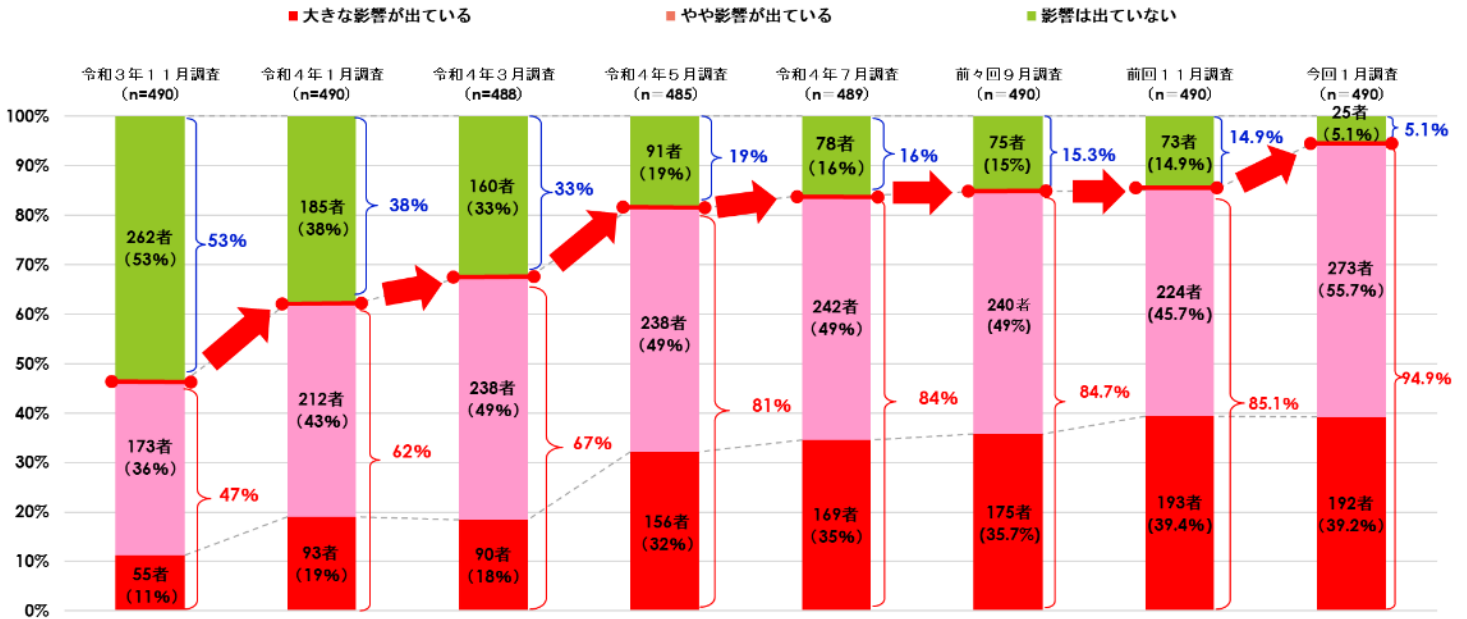
エ 今後の借入予定



※「今後も借入する予定はない」が79%となり、前回76%から3ポイント増加した。

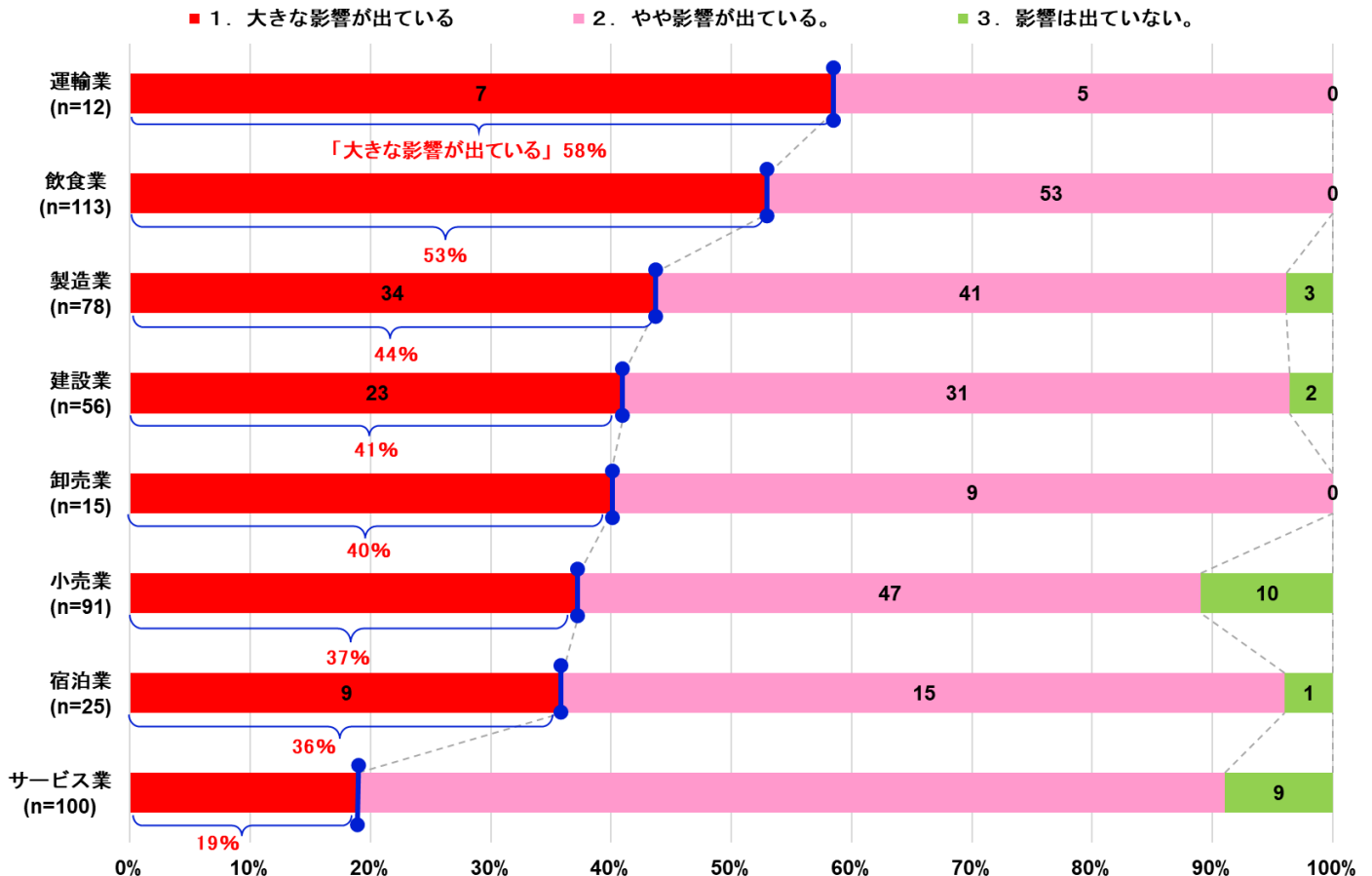
(9) 原油高、原材料費高、物価高、円安等の経営への影響について

ア 原油高等の経営への影響



※「影響が出ている」との回答割合が、前回令和4年11月から約10ポイント増加して、令和3年11月の調査開始以来、最も高い94.9%となった。

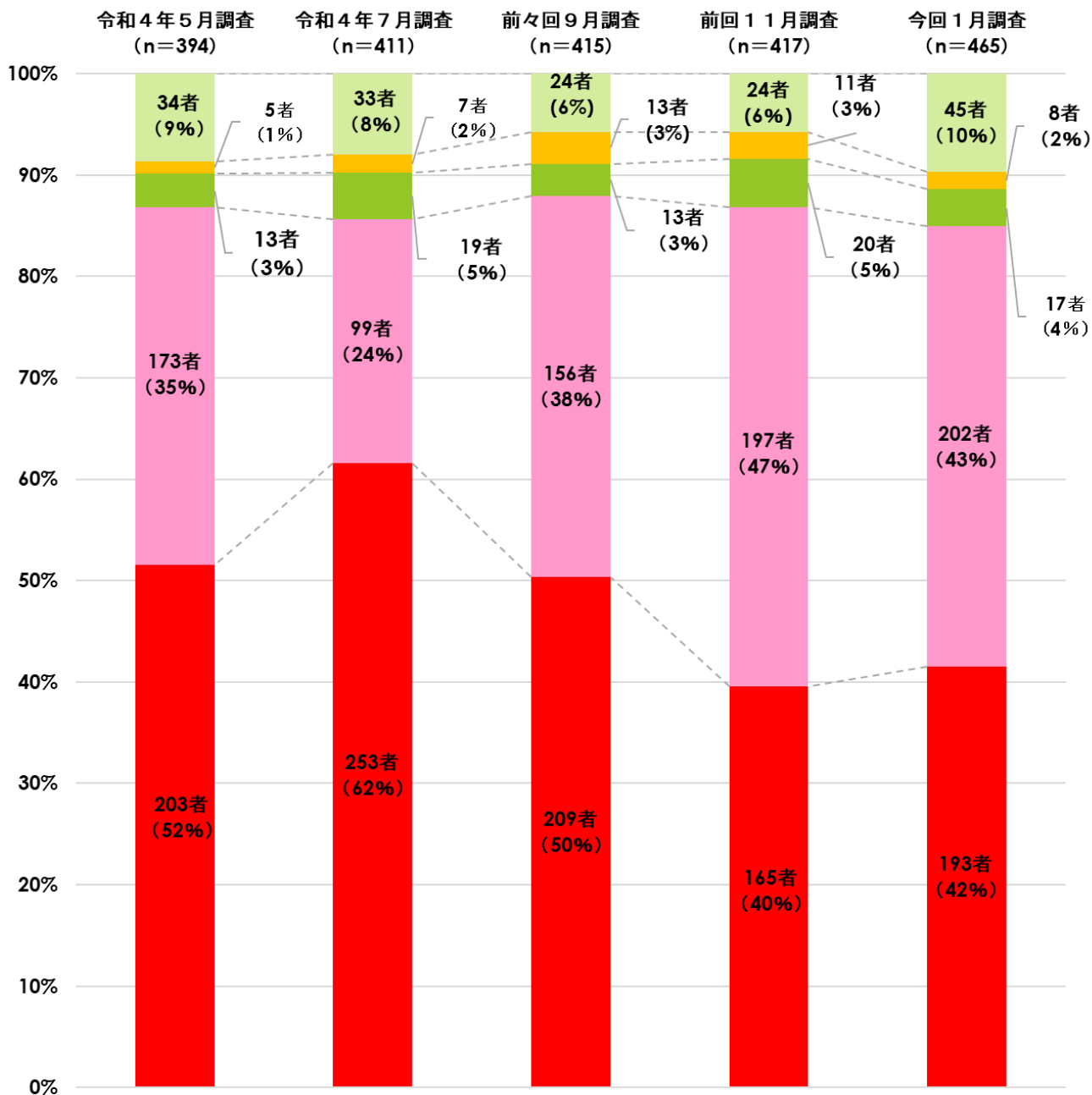
イ 業種別原油高等の影響の割合



※業種別では、運輸業、飲食業、卸売業の3業種の100%が「影響が出ている」と回答した。

ウ 原油高等の売上・利益への影響

- 売上減かつ利益減になっている
- 売上増だが、利益は横ばいかマイナスになっている
- 売上減だが、利益は横ばいかプラスになっている
- 売上増かつ利益増になっている
- 売上利益ともに影響なし



※原油高・原材料高・物価高等の進行により、「売上は増えたが、利益は横ばいかマイナスになっている」との回答が43%と最も高くなっている。

エ 売上・利益への影響（具体的な内容）

[1. 売上高減かつ利益減になっている]

【製造業】

- ・ 昨年の前半はコロナの影響で売上げが減少し、10月ごろから円安になり、原油高や材料費高騰となり利益を圧迫している。（八代市商工会）
- ・ 原材料高騰が続いているが価格転嫁が難しい。これ以上値上げをおこなうと売上減少につながる恐れがあるため。（美里町商工会）
- ・ 原材料仕入れ価格が高騰したため、販売価格を上げたが売れ行きが悪くなった。（宇城市商工会）
- ・ 新商品開発による売上増はあっても、原材料費がここまで上がるとどうしようもない。（長洲町商工会）
- ・ 地場の工務店、個人大工の新築受注減により、売上げが減少してきている。全ての材料の値上げに困惑している。（錦町商工会）

【建設業】

- ・ 契約時の金額から施工後の期間内に価格の変動があっていることから、利益が減となっている。（和水町商工会）
- ・ 物価高騰による、新築数の減少ため。（氷川町商工会）

【運輸業】

- ・ 燃油価格の高騰が価格転嫁に追いついていない。（和水町商工会）
- ・ 長距離になる程燃料代が高つくので走れない。（高森町商工会）

【卸売業】

- ・ 仕入価格を販売価格に転嫁できておらず、顧客の減少、売上減となっている。（熊本市託麻商工会）
- ・ 電気代の高騰や材料代アップが利益を圧迫している。（多良木町商工会）
- ・ 住宅資材全てで値上げとなり、新築1棟あたりの単価が大幅に増加しているため、新築着工数の減少。（氷川町商工会）

【小売業】

- ・ お客様の買い控えを痛感している。（甲佐町商工会）
- ・ 消費マインドの冷え込みで売上が減。その対応策として、目玉商品や、値引き率を大きくしたが、結果的に粗利も減となった。（錦町商工会）
- ・ 原油高、物価高で利益が出にくくなっている。来客者が減少。他店でも同様なので車業界が低迷している。（熊本市託麻商工会）
- ・ 仕入価格が上昇しているので、容量など減らしている。（熊本市河内商工会）
- ・ 仕入れ値が2割～4割高騰している。（長洲町商工会）

【宿泊業】

- ・ 売上げは釣り客の減少。原油高の影響で釣り船のガソリン費の増加。（天草市商工会）
- ・ 原油高、物価高により経費が増加しているが価格転嫁できていない。（上天草市商工会）
- ・ 仕入れや光熱費の増加で利益が減少している。生活が厳しくなるとお客も減少する。（産山村商工会）

【飲食業】

- ・仕入れは高騰している。現状はコロナ禍で値崩れしていた品をまとめて仕入れていた在庫で対応しているが、この状態が長期間続けばさらに経営を圧迫する。(熊本市植木町商工会)
- ・飲食店については20%~30%位の材料の高値であり、野菜、鮮魚等においても変動高値であるため。(南小国町商工会)
- ・調理用油・食材・水道光熱費等営業に関するものが軒並み値上がりしているが、価格転嫁が十分に出来ていないため。(山都町商工会)
- ・お客様の外食控えの空気を感じる。売上げが上がっても支払いで全て無くなる。利益を出すのはかなり厳しい。(益城町商工会)

【サービス業】

- ・クリーニングに使用する石油溶剤、石油資材が2倍近くになっている。(甲佐町商工会)
- ・エネルギー高騰により、一般管理費の電気・水道・ガスの値上がりがすさまじい。特にガスは昨年の約2倍近くになっている。(菊陽町商工会)
- ・原材料費等の値上げ分を、価格に全て転嫁できないため。(熊本市富合商工会)
- ・電気代2割増加、ガス代3倍に増加、仕入額1.5割増加。(菊池市商工会)

[2. 売上増だが、利益は横ばいかマイナスになっている]

【製造業】

- ・売上げは価格転嫁を行ったため増加したが、利益を維持できるまでの値上げは難しく利益はマイナスとなっている。(菊池市商工会)
- ・価格に転嫁して売上げは増加したが、物価高騰により仕入金額や経費がそれ以上に増加しているので、粗利や営業利益は減少している。(宇城市商工会)

【建設業】

- ・価格転嫁を行っているが、十分には反映できていないため。(阿蘇市商工会)
- ・値上げはおこなっているが、高騰のペースが早くトータルで見ると利益率は低下している。(熊本市植木町商工会)

【運輸業】

- ・売上げは多少増えたが、燃料の高騰・整備部品の高騰により、利益としては、マイナスになっている。(菊池市商工会)

【卸売業】

- ・燃料高騰により値上げを行い売上げは増加しているが、経費の増加により利益はやや減少している。(産山村商工会)

【小売業】

- ・事業の再構築により売上げはあがったが、原材料費が高騰し仕入価格も上がったので利益は横ばい。(熊本市城南商工会)

- ・売上げは上がったが、輸入品である食材とプラスチックの包材が値上がりし手元に残る利益は横ばい。(熊本市城南商工会)
- ・コロナ禍での売上減から復調してきているが、原価は上昇しており、想定している利益を確保できていない。また、買い控えの動きを強く感じており、今後の不安だ。(熊本市植木町商工会)
- ・原材料は値上がりしているが、お客が値段を記憶しており、そんなに値段はあげられない。(玉名市商工会)

【宿泊業】

- ・電気代・ガス代の高騰、材料仕入高の影響を受けている。(苓北町商工会)

【飲食業】

- ・仕入れ価格の高騰があり、価格見直しをしたが再度価格値上げが必要だがまだできていない。(和水町商工会)
- ・客数が増えてきているため売上げは増加していますが、経費が増加しているため利益は減少しています。(あさぎり町商工会)
- ・一度価格を引き上げたが、その後もますます原油価格・原材料費のほうが上がっているため。(水上村商工会)
- ・商品の値上げを今年に入ってから実施したが、値上げ以上に物価高、ガス、電気灯の値上げで利益は売上げがあがってもマイナスになる、大変厳しい状況である。(宇土市商工会)
- ・ガス等は特に影響が大きい、長年通っている固定客が多いため価格転嫁する事も難しい。(熊本市植木町商工会)

【サービス業】

- ・円安に伴う輸入商材の高騰と販売先からの価格交渉によって適正粗利の確保に苦慮している。(熊本市植木町商工会)
- ・自動車の価格高騰、部品、オイル、タイヤ等の仕入れ価格が上がって利益に影響している。ガソリン、灯油、電気代の値上がりも影響している。(南小国町商工会)

[3. 売上減だが、利益は横ばいかプラスになっている]

【製造業】

- ・副材料、人件費など経費増になっているが、商品価格に転嫁できているので、ややプラスになっている。(天草市商工会)
- ・経費削減に努め、これまでの営業方法を見直したため。(熊本市富合商工会)

【卸売業】

- ・売上減ではあるが商品単価(建築資材)を値上げした影響で利益率が向上した。物価高による経費増加分も吸収できた。(熊本市城南商工会)

【飲食業】

- ・適正価格に値上げしているので、利益はちゃんととれている。(南小国町商工会)

[4. 売上増かつ利益増になっている]

【小売業】

- ・新しい取引先の増加と店舗売上（来店客数）の増加もあり、おかげさまで今のところ順調。
（将来のことは不安でもある）（八代市商工会）

【飲食業】

- ・値上げを行い売上げも上がった。仕入れの価格があがった。経費も電気代はあがったが、テイクアウトなどコロナ禍における販路拡大策等が効果を奏し売上増且つ利益増になっている。
（熊本市城南商工会）

[5. 売上利益ともに影響なし]

【製造業】

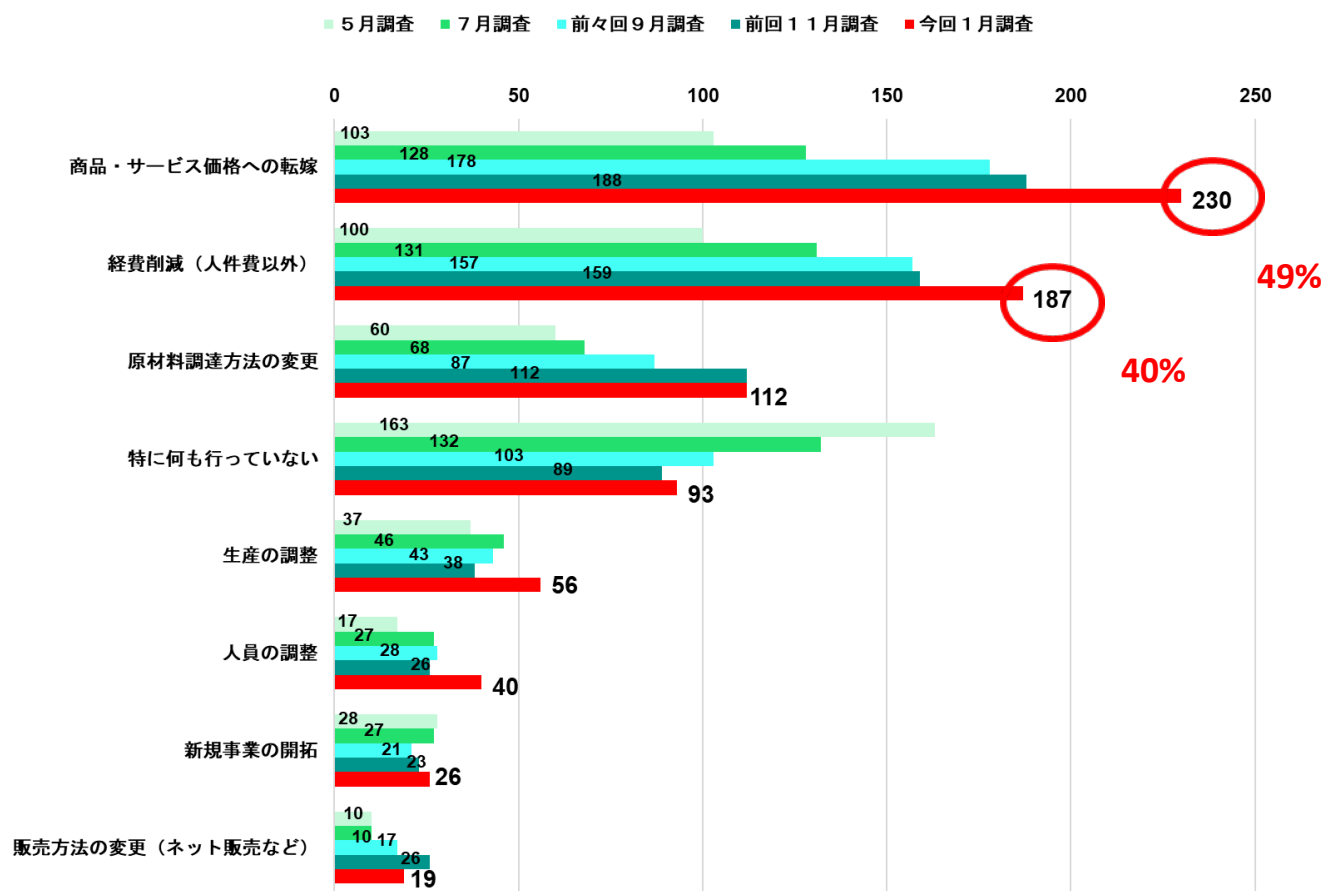
- ・現時点では売上利益にそこまでの影響はないが、電気代等が徐々に上がってきているのが気がかりである。（水上村商工会）

【飲食業】

- ・値上げしても注文は減っていないので特に影響はない。（氷川町商工会）

オ 原油高等の影響に対してこれまで行ってきた（現在行っている）対策

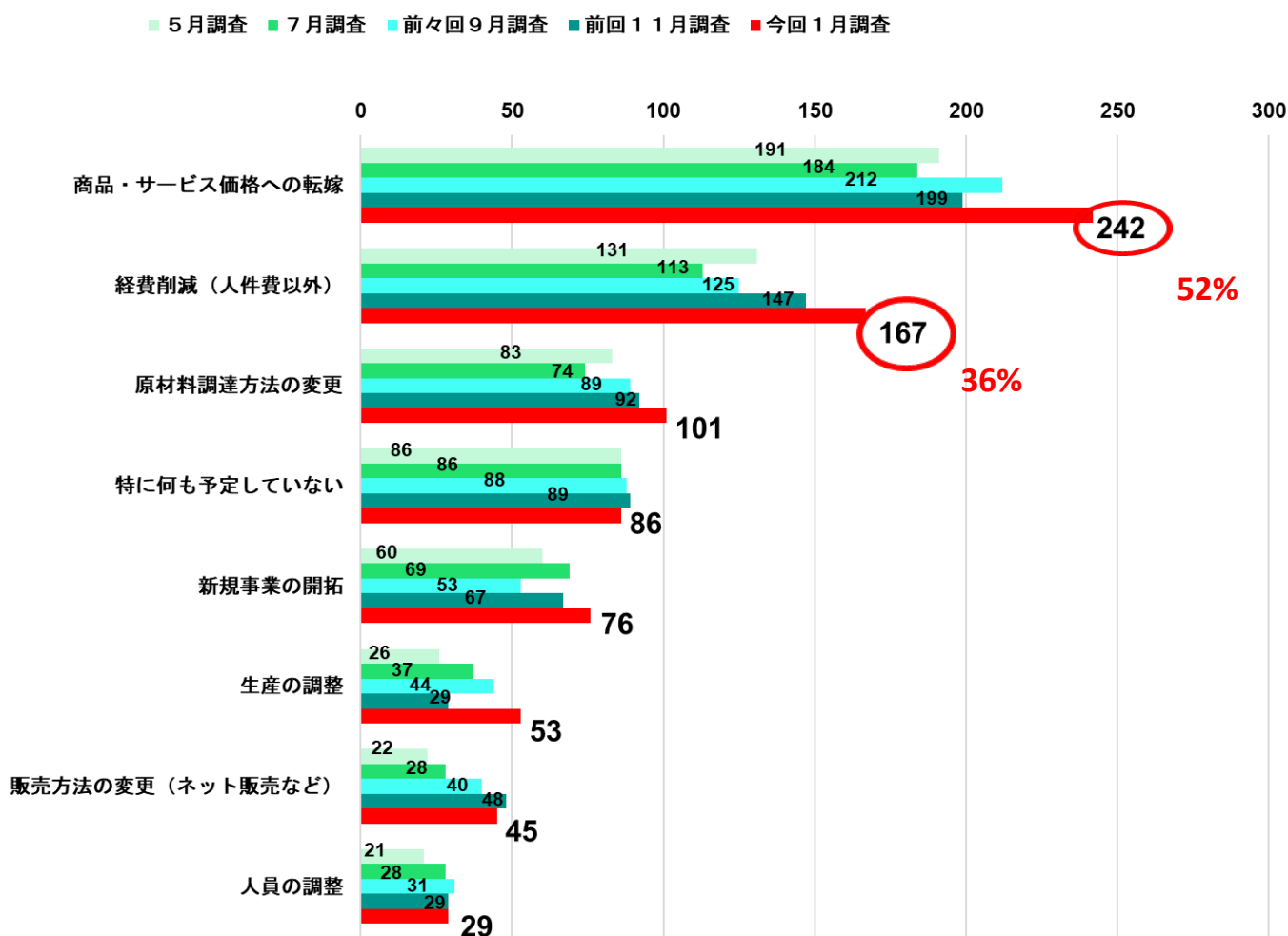
影響ありと回答した事業者 465 者



※「価格転嫁」が前回調査の45%から4ポイント増加して49%と半数近くになり、「経費削減」も40%と、前回調査の38%から2ポイント増加している。

カ 原油高等の影響に対して今後予定している対策

影響ありと回答した事業者 465 者

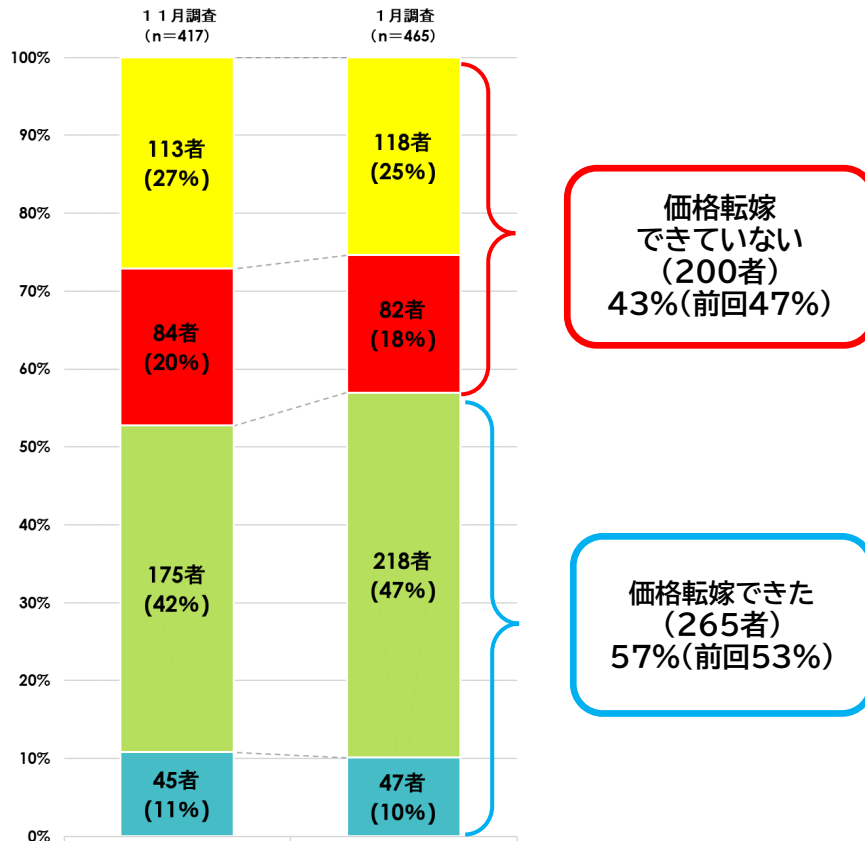


※今後予定している対策でも、「価格転嫁」が52%、「経費削減」が36%と引き続き高くなっている。

キ 価格転嫁の状況

価格転嫁の状況

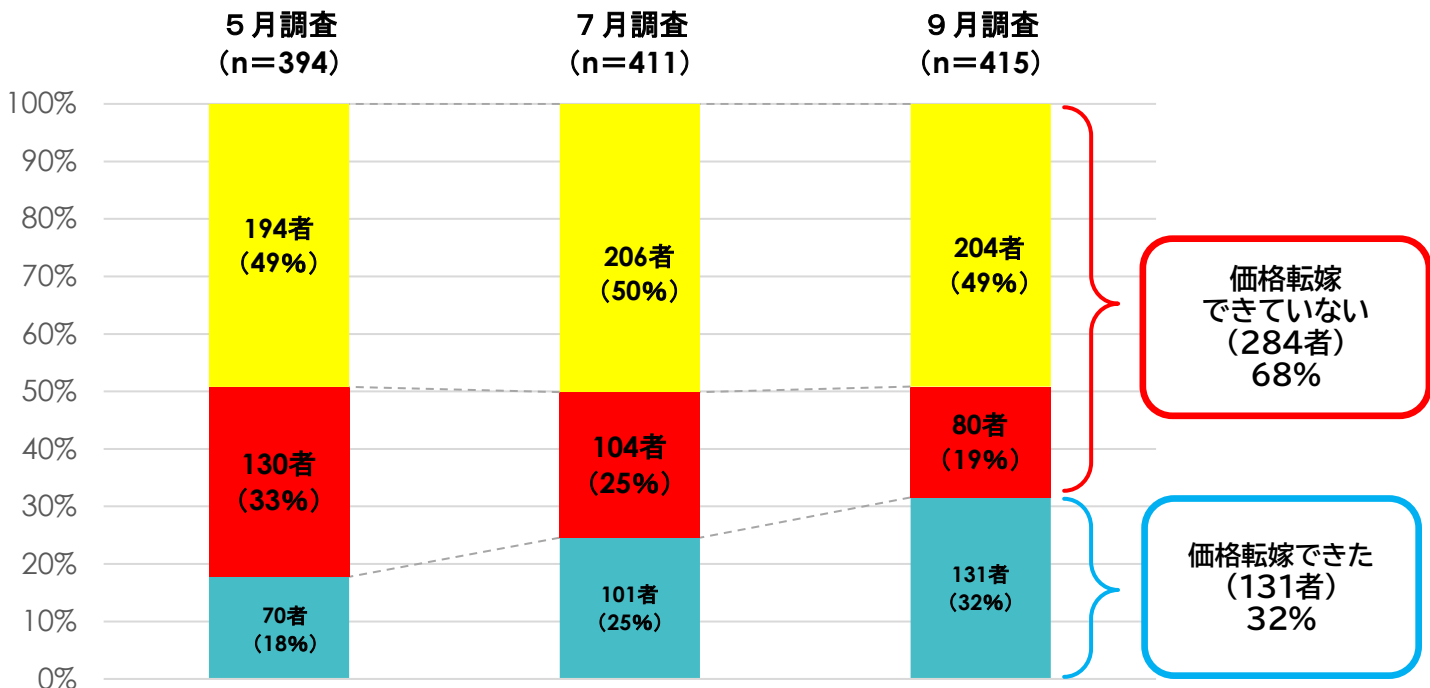
- 価格に転嫁できていないが、今後、価格転嫁を予定（検討）している。
- 価格に転嫁できておらず、今後もその予定はない。
- 価格転嫁はできたが、不十分である。
- 価格に十分転嫁できている。



※「価格転嫁できた」との回答割合が合計で57%となり、前回53%から4ポイント増加したが、「価格転嫁はできたが不十分である」との回答が47%となり、前回42%から5ポイント増加した。

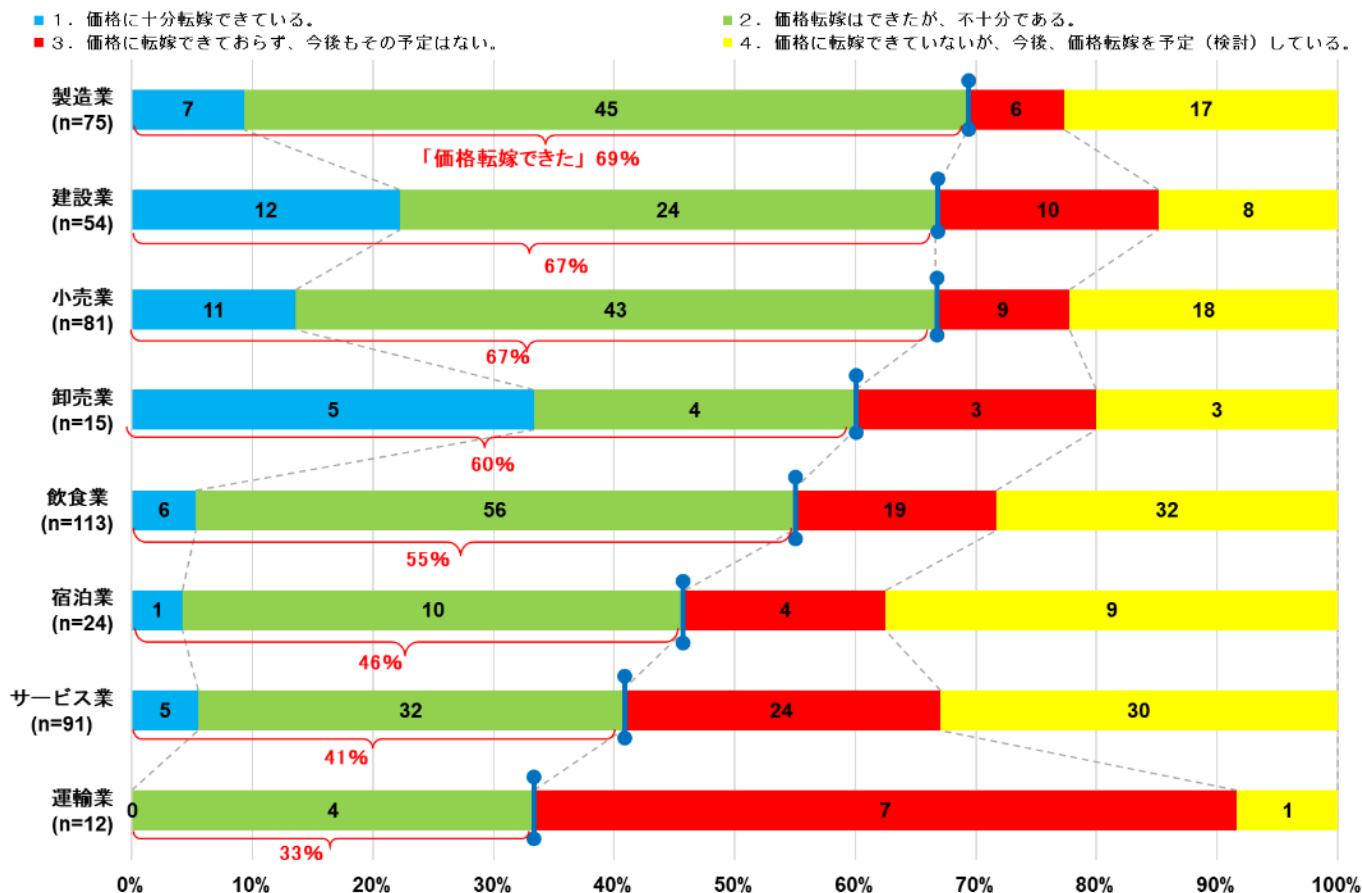
【参考】価格転嫁の状況（前々回9月調査まで）

- 価格に転嫁できていないが、今後、価格転嫁を予定（検討）している
- 価格に転嫁できておらず、今後もその予定はない
- 価格に転嫁できている。



ク 業種別価格転嫁の状況の割合

業種別価格転嫁の状況の割合



※「価格転嫁できた」との回答割合が、製造業 69%、建設業 67%、小売業 67%と高くなっている一方で、運輸業 33%、サービス業 41%、宿泊業 46%と低くなっている。また、「価格転嫁はできたが、不十分である」との回答では製造業 60%、小売業 53%、飲食業 50%と高くなっている。

ケ 価格転嫁の状況（具体的な内容）

[1. 価格に転嫁できていないが、今後、価格転嫁を予定（検討）している]

【サービス業】

- ・仕入れに関してあがった分を、販売単価に価格転嫁し反映させていきたい。（熊本市城南商工会）
- ・検討は行うが、競合他社の状況や入札などをおこなっている関係から実際はしたくてもできないと思う。（熊本市城南商工会）
- ・工賃・手数料・部品代を全て価格転嫁予定である。（熊本市富合商工会）
- ・価格転嫁については、お客さんに説明したうえで値上げを予定している。（玉名市商工会）
- ・お客さんが減少することを懸念し、まだ値上げに踏み切れていない。（菊池市商工会）

【宿泊業】

- ・R5. 2月から宿泊料金を8,500円から9,000円（税込み）に価格転嫁。釣り客は一人あたり1,000円値上げ。（天草市商工会）

【飲食業】

- ・ビール等の飲み物代が値上がりしているので2月頃くらいに値上げします。（宇城市商工会）
- ・2、3月を目標に5～10%の値上げを検討している。（益城町商工会）

・これまで値上げを行ってこなかったが、10%程度の値上げを予定している。時期は未定。

(産山村商工会)

・価格転嫁を行う必要があるが、物価の高騰の目途がつかない状況で、どこまで価格転嫁して良いか等不安で、なかなか価格転嫁がスムーズに行うことができない。(熊本市託麻商工会)

【小売業】

・2、3月を目途に5~7%の値上げを予定している。(益城町商工会)

・2割程度販売価格を上げる予定。(御船町商工会)

・今まで踏ん張ってきたが、転嫁せざるを得ない。(長洲町商工会)

【製造業】

・相場制で、自分で価格を決められないので、転嫁することが出来ない。(八代市商工会)

・客離れの心配があるが、2、3月を目途に10%以内で価格転嫁を検討している。

(益城町商工会)

・価格転嫁をしないといけないと思っているが、販売数が減少すると思うとなかなか価格をあげることができない。(熊本市託麻商工会)

・いよいよ転嫁しないと本当に立ち行かなくなる。(長洲町商工会)

[2. 価格に転嫁できておらず、今後もその予定はない]

【運輸業】

・国が定める価格なので勝手に決められないため。(高森町商工会)

・バス料金の価格改定が行われなければ、料金の変更はできない。(山都町商工会)

【サービス業】

・価格値上げの予定はない、年配の方にリーズナブルに提供したいため。(和水町商工会)

・同業者も厳しい環境の中、価格を据え置いている。(熊本市河内商工会)

【飲食業】

・価格をあげると客数の減少になるかも。(上天草市商工会)

・リピーターも多く値上げには抵抗がある。(産山村商工会)

・物価高で価格転嫁したいところですが、金額を上げれば客離れにつながりそうで何もできない状態。(宇土市商工会)

【小売業】

・他の事業所も価格を上げているのは知っているが、自社の価格政策としてはエブリデー、ロープライスを目指しているし、それがいままで行ってきた自社のビジネスモデルでもある。他社の某大手ドラッグストアや某大手スーパーは市場価格よりも同じ品質で安いところが集客しているのが実態だと思う。特に小規模事業者は価格で負ければ他のサービスではひけをとるので、価格には転嫁できない。(熊本市城南商工会)

【建設業】

- ・予算ありきの見積りなので、簡単に値上げできない。(錦町商工会)

【製造業】

- ・今の価格で現状利益は出ており、極端な円高円安、物価高に左右されるのではなく、同業者や異業種の方の話を聞いて価格を決めたいと考えている。(熊本市植木町商工会)

[3. 価格転嫁はできたが、不十分である]

【運輸業】

- ・取引先への価格転嫁をしにくい状況である。(和水町商工会)

【サービス業】

- ・物価の上昇に合った価格の設定ができていない。頻回すぎて。(天草市商工会)
- ・販売先からの値下げ要請も多く、価格転嫁が一部不十分となっている。(熊本市植木町商工会)
- ・一部価格転嫁を行ったが、いまだに資材の高騰が続いているため、価格転嫁のタイミングと上げ幅がまだ判断しづらい状況。(山都町商工会)

【宿泊業】

- ・もう少し値上げをしたいが、お客様の負担が大きくなると来てくれない不安が大きい。
(水上村商工会)

【飲食業】

- ・値上げをしたいが、これ以上値上げをすると顧客の8割が高齢者であるため客離れが心配。
(和水町商工会)
- ・商品の値上げを行ったが、現状仕入れ価格は日を追うごとに上昇している。予想外の値上げが起こることがあり、いくつかの商品は高めに見積もっていても原価に合わなくなる場合がある。短期的な飲食店の価格変更は、お客様に迷惑をかけるため、告知から値上げまでの期間に、原価に合わない商品を販売せざるをえないため。(御船町商工会)
- ・急激な価格上昇は顧客に理解を得られない。期間を決めて段階的に転嫁していく予定である。
(錦町商工会)
- ・転嫁が不十分であるが、これ以上値上げするとお客様が離れそうである。(長洲町商工会)

【卸売業】

- ・商品により何度も価格値上げが続いており、顧客離れが必ず発生する。値上げできない。
(熊本市託麻商工会)

【小売業】

- ・価格転換には限界がある。売上げが下がっては意味がないから、大きな価格転換は出来ない。
(宇土市商工会)
- ・販売価格は値上げしたが、物価高とのバランスを考えるとまだ販売価格を上げることも考えている。(甲佐町商工会)

- ・材料代（砂糖、卵）は値上がりしているが、あまり上げすぎると買ってくれなくなるため、価格転嫁は全部できてはいない。ただ、付加価値の高い商品、イベント商品（VD）を買っていただけるよう販売戦略をとっている。（玉名市商工会）
- ・顧客離れを考えると、一律に転嫁できない状況がある。（熊本市富合商工会）

【建設業】

- ・価格は徐々に転嫁しているが、一気に上げると取引先の信頼性を失いかねない。（熊本市植木町商工会）

【製造業】

- ・商品の大幅な値上げにより消費マインドが低下してしまうと考えているため、十分な転嫁には至っていない。（菊池市商工会）
- ・毎日のように原料の値上げがあっているのに、価格転嫁が間に合っていない。（南小国町商工会）
- ・卸先で、より価格の安い業者に変更されるため、価格を上げられなかったり、納品できなくなっている。（宇土市商工会）
- ・値上げはできたが、十分な利益確保にはなっていない。他社商品とのバランスを考えながら、価格設定をする必要があるので難しい。（玉名市商工会）
- ・転嫁が不十分で、店頭販売の値上げは限界なので、ECサイトの販売価格を上げて首都圏向けに販路を見出す。（長洲町商工会）

[4. 価格に十分転嫁できている]

【飲食業】

- ・ほぼ全ての商品で値上げができた。当初は不安だったがお客様がついてきてくれた。（熊本市城南商工会）
- ・2月に大幅値上げを予定。そこで十分な価格転嫁を図る。高級店への路線変更を図る。（大津町商工会）

【小売業】

- ・我々小売業は生産価格、卸価格が上がれば小売価格に調整できるので、メーカーより提示がある（お酒に関しては）。ただ、配送料は無料なので原油価格の上昇分はつらい。（八代市商工会）
- ・食料品、酒、たばこは価格が決まっているので、その価格で販売している。（山鹿市商工会）

【建設業】

- ・商品の価格については転嫁できているが、サービスに関しては横ばいかマイナスになっている。（錦町商工会）

ケ 原油高等の経営への「影響は出ていない」と選択された方の理由

【製造業】

- ・農産物の加工を行っており原材料も自社での路地栽培のため。（阿蘇市商工会）

【建設業】

- ・ 当社は公共事業が主であり、原材料が上がった場合は、その分みてもらうことが出来る。民間工事が多くなると影響が出ると思う。(熊本市富合商工会)

【小売業】

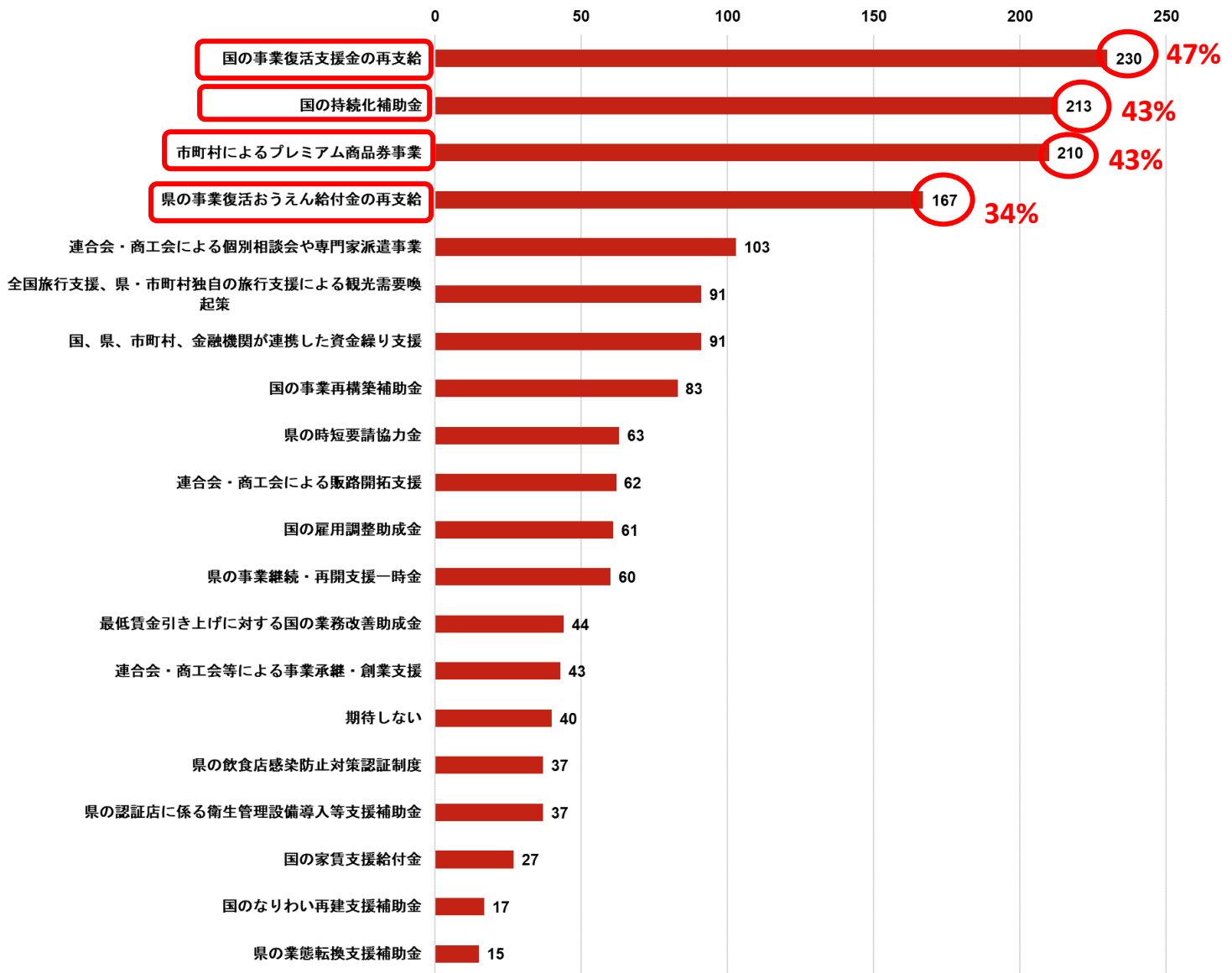
- ・ 販売する商品の価格が安定しているため今のところ影響はない。(湯前町商工会)

【サービス業】

- ・ 材料の高騰はあるかもしれないが、影響が出るまで上がることはない。上がった場合も単価を上げやすい。(益城町商工会)
- ・ 業種が整骨院で仕入等がないため。(美里町商工会)
- ・ ボクシングジムのため。(宇土市商工会)

(10) 今後活用を予定(期待)している支援策について

調査対象：490者
複数回答(n=1,694)



※「国の事業復活支援金」が47%（前回39%）、「県の事業復活おうえん給付金」が34%（前回31%）となり、直接給付による支援を期待する回答が増えている。

(11) 新型コロナ対策、原油高対策、資金繰り等に関する支援策についての意見や要望

【製造業】

- ・ T S M C など台湾からの企業誘致に伴い人流の増加が期待され、特産品、地元商品の販売機会が増えることを望みます。(御船町商工会)
- ・ 新型コロナが5類相当になることで、行動制限が緩和され、売上げは少しずつ回復に向かうと思うが、物価高で安定した利益を確保するのが難しい状況になっている。よって、今後は物価高騰に対する支援策を充実させて頂くことを期待します。(宇城市商工会)
- ・ 原油高、経費増が続いているので、支援金、給付金を出して欲しい。売上げはやっとコロナ前に戻りつつあるが、まだまだといった経費が売上げの圧迫に繋がっている。やる気の出る政策を行って欲しい。(八代市商工会)
- ・ 印刷業を営んでいる。新規事業の開拓を考えている。あと10数年は仕事を続けたいと思っている。1年1年今年も何とか終わることが出来たなと感じることが、ここ数年多い中で世の中の先端に標準を合わせるよりも、これまで通りのアナログな伝票などを必要とされる方がいらっしやるので、ニッチな仕事として残っていきたいです。商工会等、様々な皆様には、いつも応援して頂くばかりなので、今後ともお力をお借りしたいです。(宇城市商工会)
- ・ 商工会で持続化補助金やマル経融資でお世話になり、事業拡大が順調に進んでいます。これからもよろしく願います。(熊本市植木町商工会)

【建設業】

- ・ 今後は金利も上昇傾向です。住宅ローンの借り入れ枠は今以上に小さくなります。所得がUPすれば枠も広がりますが、中小企業での賃金UPは経営者としても難しい状況です。一般の人達が車も新車は買えずに中古車、新築は建てられずに中古住宅、中間層がいなくなり今以上の格差社会へと進んで行くのではないのでしょうか？生活のあり方も含めて色々な事を見直す必要があるのではないのでしょうか？(八代市商工会)

【運輸業】

- ・ 日本政策金融公庫より100万円を借入していますが、5月から返済をしなければなりません。現在の売上げでは返済は無理です。社長の給料をカットしたうえでは、年金から返済しなければならない。何とかしてほしいと思います。(天草市商工会)

【卸売業】

- ・ 賃金向上が続いている中で、従業員の雇用を支え続ける必要があるが、賃金の上昇速度に自社の対策が追いついていない、簡易で即効性のある支援策を創出してほしい。(熊本市城南商工会)
- ・ 実質無利息の融資を続けて欲しかった。住宅ローンの利率が上がっている傾向だが、事業用融資については低金利の融資を要望する。(合志市商工会)

【小売業】

- ・ 事業復活支援金や県独自のおうえん給付金などの情報や各補助金などの情報を商工会から頂いており利用ができ大変よかった。国や県や市のほうでも事業者の情報収集に役立つためにホームページやSNS・新聞などで積極的に補助金などの周知活動を行っていただきたい。また T S M C の関連としての産業振興策などを積極的に作り出して欲しい。(熊本市城南商工会)

- ・今後も支援金をいただけると資金繰りが悪化することがなくなるから。初めて商工会専門家派遣を活用して Instagram 個別相談をしたが、成果が出始めたので、チャレンジしてみて大変良かった。引き続き活用したい。(玉名市商工会)

【宿泊業】

- ・コロナで融資をされた方が多いと思うので、条件の合う事業所は徳政令のような大胆な施策をやったら面白いと思います。(熊本市植木町商工会)
- ・巡回して資金繰り支援の定期的な情報提供をしてほしい。(天草市商工会)

【飲食業】

- ・現状として事業者への支援が手薄になっているように感じています。5類への引き下げなどが進んだとしても影響はしばらく続くと思うので、今後も事業者支援をお願いします。

(あさぎり町商工会)

- ・資金繰りに苦慮している。コロナ貸付の返済が始まれば返せない。手元資金も減っている。新規の借入をしても残高が増えてしまう。どうにかしてほしい。(熊本市植木町商工会)

- ・販売価格上昇に対して、一番必要なものは『お客様の理解』だと思う。企業努力はもとより、各機関でも値上げに対するお客様の理解を促進するような支援策があれば行ってほしい。

(御船町商工会)

- ・私の店は、飲食業なので町が支援している商品券は、大変助かっています。それがなかったら、去年は売上げが、コロナ前より50%以下になっていたと思います。(南小国町商工会)
- ・補助金や助成金の事務負担を簡素化して欲しい。チャレンジしたいがハードルが高い。雇用に関する助成金を広げてほしい。人がいないと補助金の申請や報告ができない。(山都町商工会)
- ・大人数が集まる場所、大人数で食事する場所は、敬遠されるような風潮があるので、国や県は、もう少し飲食店のことを考えてほしい。(宇土市商工会)

【サービス業】

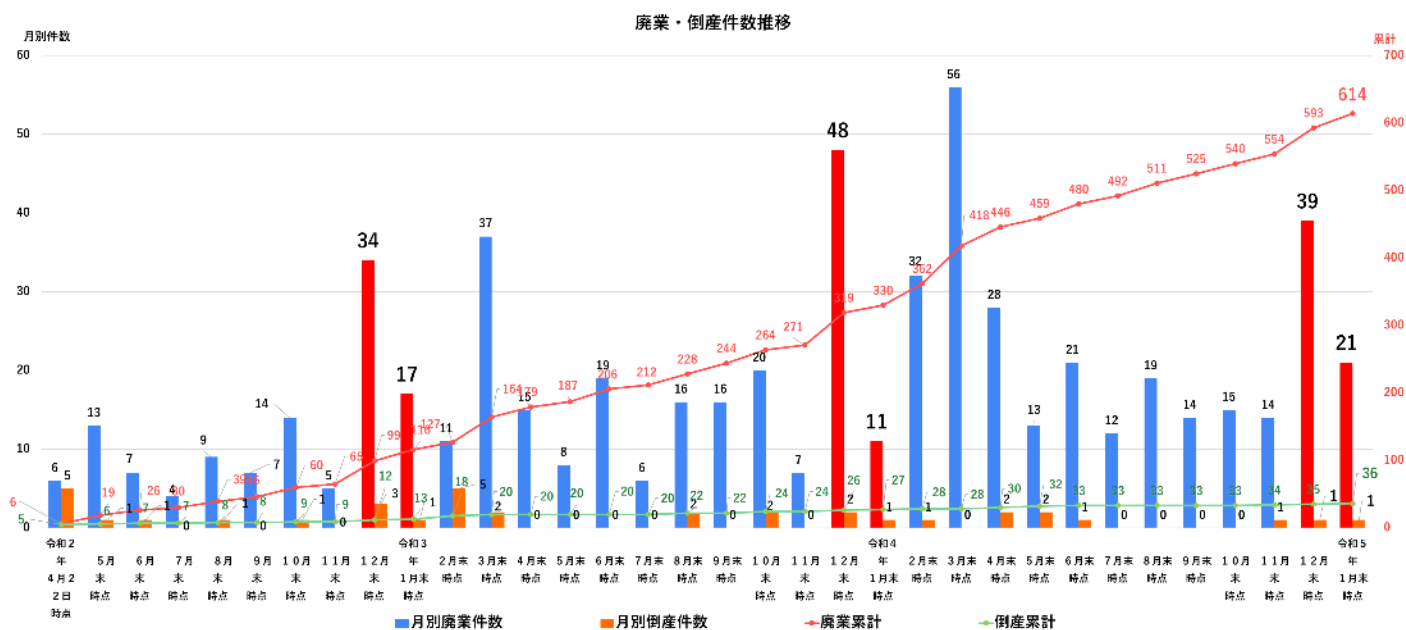
- ・売上げも減り融資の返済で従業員の給料も上げられないので、国には中小企業にもっと援助をしてほしい。(御船町商工会)

- ・コロナに関しては、第8波の影響も大きく、何らかの支援を望む。原油高騰に関しても業種別(特に石油製品に依存する業種)の支援を望む。(山都町商工会)

2. 廃業・倒産の状況

(県内49商工会の令和4年4月1日現在の会員18,116者を対象に月末時点で把握した数値)

- ・ 廃業累計614件
- ・ 倒産累計36件



※「廃業・倒産」の定義

廃業：資産が負債を上回る状態での自主的な事業廃止

倒産：企業が債務の支払不能状態に陥り、経済活動を続けることが困難になった状態

※廃業件数は、年度末と並んで年末年始が増加する傾向にあるが、令和4年12月の39件は3月の56件に次いで、2番目に多い件数となった。1月の21件は、3年の調査期間中では、1月の月間最多件数となり、令和2年4月調査開始以来の累計は614件となった。

一方、倒産は12月1件、1月1件と低水準で推移している。